

# JJAOT

2024  
1

The Journal of Japanese Association of Occupational Therapists (JJAOT)  
日本作業療法士協会誌



## 年頭のご挨拶

2024年を迎えて

### トピックス

## 第57回日本作業療法学会 開催報告

2023年度第6回定例理事会 理事会レポート  
2024年度重点活動項目

委員会等名簿

# 事務局からのお知らせ

## ◎ 2023 年度会費が未納の方へ

「2023 年度会費納入について（最後のご案内）」ご納入のお願いと振込用紙をお送りしました

2023 年度会費をお振り込みいただけていない方に向け、最後のご案内として会費ご納入のお願い、および 2023 年度会費振込用紙をお送りしました。当年度末（2024 年 3 月 31 日）までに会費が未納の会員は会員資格を喪失します。ご案内がお手元に届いた方はお早めに 2023 年度会費をお振り込みください。会費納入について不明な点がございましたら、協会事務局（kaihi@jaot.or.jp）までお問い合わせください。

## ◎ご自身の登録情報が最新かどうかをご確認ください！

協会に登録している勤務施設は現在の職場でしょうか。協会より会員所属施設宛に配達物等をお送りすると、既に退職済みとのことで返送されてくる場合があります。また、発送先を自宅宛とご指定いただいている場合、勤務施設に関する情報が更新されず、以前の勤務施設のままになっている場合があります。協会にご登録いただいている施設にその会員が所属しているものと判断しますので、ご自身の登録している勤務施設情報が最新であるかどうかを確認し、もし古い情報のままでしたら修正・更新をお願いいたします。

### 【登録情報の確認方法】

協会ホームページより会員ポータルサイトにログインし、「基本情報変更」で登録情報の確認・修正が可能です。

※パスワードをお持ちでない方、忘失された方はパスワードを再発行することができます（協会ホームページ>会員ポータルサイト>パスワードを忘れた方はこちら）。

## ◎ 2024 年度の休会申込期限は 2024 年 1 月 31 日です！

休会は年度単位（4 月 1 日～3 月 31 日）でのみ申請・取得が可能となっています。これは会員の資格が年度単位で登録されていることに基づいています。年度途中での申請や、数ヵ月単位の取得等はできません。

2024 年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の休会を希望される方は、2024 年 1 月 31 日までに「休会届」のご提出が必要になります。この提出期限を過ぎますと、2024 年度の休会ができなくなりますのでご注意ください。

### 【申請手続】

前提条件……………①申請年度までの会費が完納されていること

②過去の休会期間が 5 年間に達していないこと

提出書類……………①休会届（協会事務局に連絡し、所定の用紙を請求。これに必要事項を記入し、署名・捺印）

②休会理由の根拠となる、第三者による証明書

○出産・育児……出産を証明する母子手帳の写し等

○介護……要介護状態を証明する書類の写し等

○長期の病気療養……医師の診断書の写し等

提出方法……………郵送でのみ受け付けます

提出先……………〒111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル 7 階  
一般社団法人日本作業療法士協会

提出期限……………2024 年 1 月 31 日

### 【証明書のご提出が申請の締め切りに間に合わない場合】

まず「休会届」だけ先に提出してください。その際、協会事務局にご一報いただき、いつまでに証明書の提出が可能かご相談ください。休会期間中の 1 月 31 日までに（申請時の 1 月 31 日ではありません。たとえば 2024 年度の休会に関してであれば 2025 年 1 月 31 日までに）証明書をご提出ください。

### 【制度の詳細】

休会制度の詳細および「Q&A」については協会ホームページをご覧ください（協会ホームページ>会員向け情報>諸手続き>休会制度）。その他ご不明な点は協会事務局（kaihi@jaot.or.jp）までお問い合わせください。

# JJAOT

2024  
1

The Journal of Japanese Association of Occupational Therapists [JJAOT]  
日本作業療法士協会誌

## CONTENTS

目次 ● 2024 年 1 月 15 日発行 第 142 号

### 2 年頭のご挨拶

▶ 2024 年を迎えて

#### トピックス

### 4 第 57 回日本作業療法学会 開催報告

### 9 2023 年度第 6 回定例理事会 理事会レポート

### 10 NEWS

#### 連載

### 12 Front line APOTC2024 ⑬

▶ 明けましておめでとうございます。今年には APOTC 開催年です！

### 14 ご存じですか？ 団体保険⑤

▶ 「生きる」を創るがん保険 WINGS・医療保険 EVER シンプル

### 17 各部の動き

### 18 委員会等名簿（2023 年 12 月現在）

### 25 2023 年度第 6 回定例理事会 抄録

27 2023～2024 年度協会主催研修会  
案内

30 日本作業療法士連盟だより

31 求人広告／お知らせ：学術誌『作  
業療法』の投稿規定・執筆要領に  
ついて

32 編集後記





## 年頭のご挨拶 2024 年を迎えて



日本作業療法士協会 会長  
山本 伸一

明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えることとお慶び申し上げます。また、会員の皆様、賛助会員の皆様、関係団体の皆様におかれましては、旧年中も格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。引き続き、本年もよろしく願いいたします。

本稿では、2023 年を振り返り、新たな 2024 年に向けた本会の展望について述べさせていただきます。

### ○日本と世界における 2023 年

2020 年に日本で最初の感染者が発生した COVID-19 は、パンデミックとなりました。日本では 2023 年 5 月に 5 類感染症に移行するまで、3 年以上の期間を要しました。多くの病院・施設等でクラスターが発生し、感染に対する恐怖と戦ってきました。2023 年は、その努力もあってようやく落ち着いてきたところです。

また、ロシアによるウクライナ侵攻は 2022 年 2 月の開始から 2 年近くになろうとしています。いまだに終息がみえません。2023 年 10 月には、パレスチナ・ガザ地区を実効支配するハマスによるイスラエルへの攻撃で勃発したハマス－イスラエル間の武力紛争も出口がみえない状況です。

ウクライナやパレスチナの問題やアフター（ウイズ）コロナに加え、物価高騰や ICT の導入等の影響により、私たちの生活様式はさまざまな場面で転変しています。私たちの暮らしだけでなく、高齢者や障害のある方々の生活もまた同様に影響を受けています。作業療法場面でも、環境づくりや効率的な介入の工夫等、これまでとは異なったかわかりが必要でしょう。一方、作業療法の「核」として、対象者の生活に寄り添うことは何ら変わりません。作業療法士だからわかること、作業療法士だからできること。専門職としての自覚をさらに深めつつ、臨床に励んでいただきたい、そう思います。

### ○組織体制の再編について

2023 年 5 月 27 日の日本作業療法士協会定時社員総会・臨時理事会にて第 6 代会長に選出いただきました。新会長としての所信表明は、以下の 4 つです。

1. 作業療法士の臨床力を確かなものにします。
2. 社会保障を守り、職域を拡大します。
3. 会員個人－職域（勤務先）－各都道府県士会－学校養成施設－当協会の集合体組織力を確固たるものにします。
4. 事務局は、迅速・正確・良質な部署横断的な機能を強化します。

目指すのは「輝いている対象者（患者・利用者）さん、輝いている作業療法士」です。そして、それを支える「魅力のある各都道府県作業療法士会と日本作業療法士協会」。理事体制も一新しました。年齢も 30 代から 60 代まで、バランスの良い全世代型の配置と言えます。事務局に関しては、実行機関の事務局と検討機関の委員会に分けられ、現在もなお再編が推し進められております。より良い事務局体制に向けて、皆様のご指導ご協力をお願いいたします。

### ○第四次作業療法 5 ヵ年戦略について

2023 年度、第四次作業療法 5 ヵ年戦略が始動いたしました。今回は、2 本立ての 5 ヵ年戦略です。

第一（地域共生社会 5 ヵ年戦略）に「人々の活動・参加を支援し、地域共生社会の構築に寄与する作業療法」。最上位目的は「作業療法士が地域のさまざまな場（医療・介護・福祉・保健・教育・労働・司法等の領域）において、地域に根ざしながら、専門職間のつながりはもとより、そこで共に暮らしている健康な人・障害のある人を含む老若男女すべての人を対象に、作業（生活行為）に焦点を当てた支援や調整によって、人と人のつながり、人と社会のつながりを創り出し、人々の健康と幸福を促進する」。

第二（組織力強化 5 ヵ年戦略）に、「集え、立ち上げられ、進め、チーム OT！～あらゆる垣根を超えた全世代型の組織を目指して～」。最上位目的は、「すべての国民に対して、作業療法の最良の質と量を提供できる体制の整備をさらに促進する。協会の執行体制と事務局の構造改革、都道府県士会や養成校等との緊密な連携を通して、一体感をもった専門職集団の全世代型連帯を創ること」。

さまざまな事業を展開中です。会員の皆様には、逐一ご報告いたします。

### ○トリプル改定に向けて（処遇改善を含む）

報酬制度は、作業療法士にとって命綱と言えます。これまで本会は、各関係省庁や関連団体との渉外活動を積極的に行い、その成果は臨床等において活かされてきました。一方、現在の私たちを取り巻く環境は厳しさを増しており、リハビリテーション専門職の処遇の改善、労働環境、人材育成等の課題が浮き彫りになっています。

令和6年度の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービスのトリプル改定につきましては、本会として何とでも会員のプラスとなるよう渉外活動を強化してまいりました。関係省庁へはもちろんのこと、厚生労働大臣等にも直接に陳情してきました。また、介護報酬関連では、介護給付費分科会におきまして認知症のリハビリテーション等について、委員の方々と関係団体に向け、強く要望してきたところで、本誌の発行時には、処遇の改善を含む各制度の骨格等が提示されている頃と思います。改定の詳細が確定するまで、引き続き働きかけを続けていきます。

### ○政治活動について

政治活動と選挙運動に関しては、2023年7月に全国の各都道府県士会に向けて、「日本作業療法士協会の政治活動に関する見解」を述べさせていただきました。私たちの責務は、法制度の執行を担う行政機関だけでなく、法律や条例の制定・改正を担う立法府とその構成員（国会議員や地方議員）にも作業療法そのものやさまざまな課題を知ってもらうこと。これらによって、国民の健康と福祉の向上を目指すことも本会の活動の一つです。

そして、本会が以前から堅持している3つの原則があります。

- ①特定の議員や政党を支持するものではない。
- ②会員個人の思想信条の自由を侵すものではない。
- ③本会の目的達成に必要と考えられる範囲と対象に対して行われるもの。

これらは守るべきことですので、協会・士会関係者でしっかりと理解したうえで活動しなくてはなりません。

### ○本会の組織率について

2023年度においては、組織率対策委員会によってアンケート調査3種を行いました（2023年5月8日～5月31日）。内訳は、個人向け：配信53,274件（回答7779件、14.6%）、施設登録代表者向け：配信12,534

件（回答989件、7.9%）、都道府県士会向け：配信47件（回答46件、97.9%）で、既に各方面でご報告しているところです。

会員の声をしっかりと受け止め、協会事業の活性化と組織率の回復に努めたいと存じます。会員の皆様、所属病院・施設、学校養成施設、各都道府県士会、そして本会の組織力をさらに強化していきます。

### ○APOTCに向けて

昨年の第57回日本作業療法学会 in 沖縄（2023年11月10～12日）は、約3,300名の参加という盛会のうちに閉会できました。関係者の皆様には深く感謝申し上げます。

学会の前日には、アジア作業療法協会交流会がありました。当交流会（2019-2023）は、アジア諸国交流会（2014-2017）を前身とし、2019年より開催を継続しています。韓国・香港・台湾・フィリピン・シンガポール、そして日本の作業療法協会の代表者（会長、理事役員、国際部等）で構成されています。交流会は、これまで計3回（2019年、2021年、2023年）開催され、各国の情勢や作業療法士の状況等を情報共有してまいりました。

また学会の会期中には、日本-台湾作業療法協会の学術交流として、ジョイントシンポジウムも行われました。テーマは、「生涯教育制度」「精神障害」です。それぞれの工夫等が紹介されました。お互いの現場に反映し、高めあえればと思います。

このように2014年のWFOT大会（横浜にて開催）後、世界と日本の距離は縮まっており、交流が継続しています。そして、2024年にはアジア太平洋作業療法学会が開催されます。第8回アジア太平洋作業療法学会（APOTC2024）は、アジア太平洋作業療法地域グループとの共催です。是非、多くの方々に参加いただければと思います。

作業療法のことは、やはり私たち作業療法士にしかわからないことがあります。作業療法士にしかできないことがあります。会員の皆様の声を真摯にお聞きするとともに、組織力の強化を図り、未来を切り拓いてまいりましょう。すべては「会員の皆様と作業療法現場のための日本作業療法士協会」です。引き続き、何卒よろしく願いいたします。

## 第57回日本作業療法学会 開催報告

### 第57回日本作業療法学会を振り返って—基調講演と会場の模様を中心に—

第57回日本作業療法学会長 長尾 徹（神戸大学大学院 保健学研究科）

沖縄県での学会開催は、日本作業療法学会が始まって以来、初めてだったことは皆様ご存じのことかと思えます。それだけに参加に対する期待も大きく、沖縄県という土地への魅力も相まって、登録演題数は1,508題となり、1,425題が実際の発表に至りました。できるだけたくさんの方の演題を発表していただきたいと考え、ポスター発表を2部制（14時に貼り替え）としました。また、速報値では会場参加が2,480人、Web参加が835人、参加者計3,315人となりました。

本学会のテーマは「ものごとの仕組みに注目する—作業療法における問題解決の糸口として—」としました（写真1）。ものごとには仕組みが存在します。今まで知らなかった仕組みに気づいた時、対応策が見つかることがあります。本学会ではそういったものごとの仕組みに着目することで、作業療法を実践するうえでの問題解決に少しでも役立つような場を提供し、今後の作業療法実践に活かせることを期待しました。

#### 基調講演1「認知バイアス」

我々はリハビリテーションの専門職であり、臨床場面では患者・対象者さんと対峙しています。患者・対象者さんの意思決定・自己決定の裏には、認知バイアスが影響していると予測できます。その認知バイアスに「惑わされる」のではなく、一つの「仕組み」だと思って対峙するためにも、講演は臨床家にとって大変刺激的な内容であったと思います。また、教育現場（学校養成施設）の教員や、大学院等の研究者も多数参加しており、自らの行動や判断が認知バイアスの影響を受けていないかモニタリングする機会にもなったことでしょう。

基調講演1「認知バイアス（人の思考や行動を決める際の特徴を知る）」は名古屋大学教授の川合伸幸氏

（日本認知科学会会長）に講演いただきました（写真2）。川合氏は、よくみられる認知バイアスについて解説してくださいました。誌面の都合上、そのうち7つを以下に紹介します。

#### ①ステレオタイプ

他者に対してさまざまな思い込みがある。「ドクターミス問題」を提示し、人に存在する思い込みの特徴を紹介した。さらに、ステレオタイプが影響する例として、オーケストラ団員の採用面接におけるステレオタイプの影響も解説された。これは「オーケストラの演奏は女性がするものではない」と考えられていた時代のバイアスである。音楽大学では半分以上が女性なのにオーケストラ団員の女性比率は1980年代には10%だった。80年代以降、採用面接でカーテンを引き、その後ろで演奏してもらって判定し始めたところ、女性比率は25～40%に上がった。偏見も一種の認知バイアスであり、偏見がないはずの人でも、無意識のレベルでは偏見があり、行動に表れることもあるという例だ。

#### ②コントロールの錯覚

実際にはコントロールできていないことであっても、あたかもコントロールできているかのように感じてしまう。例えば、宝くじ購入時に自分で選ぶと当選するような気持ちになるとしたら、コントロールの錯覚が発生している。ことに、人は自分で選択することを好む傾向にある。患者さんはとにかく「自分で選びたい」のだ。介護施設での調査として「好きなようにビデオや本を選び、植木の世話を自分でできる主体性群」は「職員が選んだビデオや本が与えられる非主体性群」より、3週間後の生活満足度が高く、ほかの入居者と



写真1 学会のテーマを解説する長尾学会長



写真2 講演する川合氏

の交流も多かった。また、健康状態も改善され、さらに18ヵ月後の死亡率も低かった。介入前の両群の死亡率は25%であったが、介入後の主体性群の死亡率は15%に留まり、非主体性群は30%であった。このことから「自分で環境をコントロールしている」という意識がストレスや不安を低下すると考察されている。

### ③行動バイアス

人は何もしないより、何かしようとしてしまう傾向がある。患者にも行動バイアスが存在し、薬を飲むか、安静にするかの選択肢を平等に与えられた場合は薬を飲む傾向にある。「薬には副作用がある」「薬には効果がない」と言われても、薬を飲もうとする。人はついつい何かをしたがるものなのである。

### ④基本的な帰属の誤り

他者の行動を理解する際、個人的な特徴や性格等の「内的な要因」を過剰に重視してしまうこと。例えば、治療に取り組まない患者を、ほかに理由があるかもしれないのに「頑固な人」とか「怠け者」といった性格のせいにしてしまう。人の内的な要因に原因を求めたほうが納得しやすいためである。

### ⑤確認バイアス

自分もっている先入観や仮説を強化する情報ばかりに目が行き、そうではない情報は軽視してしまう傾向のこと。不都合な情報は軽視されがちで、自分が

成功した事例ばかりを思い出し、自分が不都合なことには目をつぶる。

### ⑥現状維持バイアス

変化を避けて現状維持を求め、現在の状況よりも好転するとわかっていても行動できない心理傾向。

### ⑦介入バイアス

介入しないほうが良い選択であっても、専門家は介入したがる。

川合氏は、「認知バイアスは本来ものごとを判断する時に1から順に考える手間を省き、すばやく判断を下すための仕組みなので、決して悪いものではない」と断ったうえで解説されました。講演では、以上の7つの例だけでなく、さまざまな認知バイアスが多数紹介されましたが、それらは復習もかねて川合氏の著書『認知バイアス大全』（ナツメ社、2022）を参照してください。

### 活気あふれる会場

展示・ポスター発表会場は、対面でのメリットを活かすべく、情報交換が至るところで行われ、活気のあるフロアとなっていました。展示会場における目新しいところとして、沖縄県作業療法士会、台湾作業療法協会、第8回アジア太平洋作業療法学会、本会の学術部組織的学術研究のブースが設けられたことで、出版社による書籍



写真3 シーサー像を活かした立て看板



写真4 学会会場のエントランス



写真5 会場に設置されたキッチンカー



写真6 ビデオメッセージで挨拶を述べる、沖縄県知事の玉城デニー氏

販売も行われました。

会場となった沖縄コンベンションセンターの入り口付近には、常設されているシーサー像を活かした立て看板(写真3)が設置され、全国から訪れた参加者を迎える雰囲気が伝わる工夫がなされていました。展示棟入り口の看板も学会場であるという存在感を示すデザインで、たくさんの参加者が仲間とともに写真を撮っておられたようです(写真4)。学会のアメニティを向上させた学会運営事務局には感謝申し上げます。

さて、会期中に人気を博していたのがキッチンカーでし

た。会場周辺に飲食店が少なかったことから、屋外にキッチンカー(写真5)を配置していただきました。開会式にてビデオメッセージをくださった玉城デニー沖縄県知事(写真6)が「ぜひ沖縄の食文化や観光資源にも触れてほしい」とおっしゃっていましたが、キッチンカーで提供されたメニューには沖縄県の郷土料理や伝統料理も含まれており、参加者は沖縄の食文化に触れる時間を確保できたのではないのでしょうか。参加者にとっては、郷土色の強い、思い出深い学会になったと思います。

## 「仕組み」が巧みに機能した学会

学会企画委員長 泉 良太（聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部）

本学会は、2回目のハイブリッド開催（現地&オンデマンド〈一部ライブ〉配信）となりました。昨年に引き続き現地で開催することができ、会場での熱い討論、仲間や友人、先輩や後輩との再会等、学会を楽しむ姿を多く拝見することができ、私自身のQOLの向上も著しいものでした。

本学会で最も懸念された午前・午後のポスター貼り替えスタイルにつきましては、皆様のご協力もあり、大きな混乱もなく実施することができて感謝しております。さらには、「午前・午後で張り替えをしたほうが、会場にも動きが出て、とても活発で良かった」という感想もいただきました。確かに、ポスター会場はいつも人が通れないぐらいの人ばかりで、とても熱気がありました。口述発表や講演、セミナーについても、連日、朝早くから夕方まで多くの参加者の学ぼうとする姿が印象的でした。

そして、今回のテーマである「ものごとの仕組み」について、本学会で、皆さんの課題の背後にある「仕組み」を解く手がかりを発見することができたでしょうか。私は、

学会企画委員長になってから2回目の学会ということもあり、「学会企画委員会の仕組み」が少しずつではありますが、わかってきたように思います。本学会は、学会長を中心に学会企画委員会、協会事務局、学会運営事務局、システム担当者等と連携して企画され、そして講演者、発表者、参加者がともに連携していく（本学会では、沖縄県士会にもブースを設置していただきました）、作業療法界最大の学術連携イベントだと思っております。この「連携という仕組み」は実に興味深いもので、うまく連携することができれば、「1+1=2」ではなく3にも4にもなると考えています。反対に、0やマイナスになることもあると思います。今回は、参加者の皆様の反応を見る限りは、1+1=2を優に超えたのではないのでしょうか。

次回以降も、皆様のご支援をいただき、連携という「仕組み」を考えながら、より良い学会になるように努めていきたいと思っております。引き続きのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

### 日本作業療法学会に現地参加しました！

筑波大学附属病院精神科デイケア  
羽田 舞子

「沖縄開催」というだけで気分が上がって、少し浮かれてしまうものではありますが、実際に第57回日本作業療法学会沖縄大会に参加し、自分の作業療法士としてのエネルギーが上がったように感じました。

精神科の作業療法士として働く自分にとって、精神科関連の学会に参加する際には「これについて知って知識の共有をしたい」「ほかの人が同じ問題をどう考えているのか知りたい」と、ある程度のターゲットと目標をもって参加しています。しかし、作業療法学会では少し違う参加の仕方をしていることに気づきました。

作業療法学会では、分野にはさまざまあれど、いずれも「作業療法」という共通点をもっています。そのため精神障害専門の自分が、たとえば高次脳機能障害や援助機器のセッションを聞いた時にも、自分の専門分野につながる何かしらのヒントが浮かびます。普段は思いもしないようなヒントを得られた場面もありました。共通点もちながら幅広い分野に触れることができる場の設定は、創造性や成長への欲求を刺激しエネルギーになると感じました。

今学会のテーマは「ものごとの仕組みに注目する」でした。私が作業療法学会で感じたエネルギーを会長講演になぞらえて、欲求階層説で考えることもできるかもしれないし、そのほかの理論で説明することもできるでしょう。是非皆さんにも作業療法学会に参加していただき、エネルギーが生まれる体験とその仕組みを一緒に解明していただきたいと思った沖縄大会でした。



多数の参加者で賑わうポスター会場

## 第 58 回日本作業療法学会に向けて

第 58 回日本作業療法学会長 仙石 泰仁 (札幌医科大学 保健医療学部)

沖縄で開催された第 57 回学会は、11 月開催の初めての学会であり、協会の狙いどおり天候リスクを回避して、盛況のうちに終了することができました。まずは、大会長の長尾先生をはじめ、準備に奔走された学会企画委員のメンバーや事務局担当者等、関係者のご努力に心から敬意を表したいと思います。

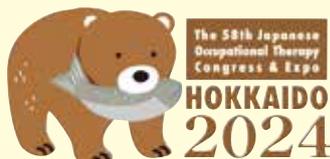
今回はコロナ禍明けということもあり、現地への参加者も増え、対面で集うことの意義を改めて感じる事ができたと考えています。身近な仲間の話ではありますが、自身の研究について説明し質疑を受けることで新たな視点に気づいたり、同じ領域や問題意識を持つ作業療法士の仲間との新たな出会いがあったりと、対面での学会の

良さを再認識したという声を多く聞くことができています。

第 58 回札幌学会でもこの流れを継承し対面での学会に少しずつシフトし、一方でオンラインやオンデマンドの良さも残していけるように企画していく予定です。11 月の札幌は初雪が降り、沖縄とはまた違った季節の変化を感じる事ができる時期です。北の大地で生活することの厳しさも少し感じていただきながら、熱い議論や温かな交流の機会をもっていただければ幸いです。

演題募集は 2024 年 1 月 9 日～ 2 月 16 日となっておりますので、多くの皆様が登録していただけますようお願いいたします。

### 第 58 回日本作業療法学会 (札幌) のご案内



2024 年度の学会が札幌で開催されます。今回の学会は例年とは異なり、第 8 回アジア太平洋作業療法学会 (APOTC2024) が学会当日まで同じ会場で開催され、アジア各国の作業療法士も札幌に集まることになっています。2 つの学会が連続して開催される貴重な機会になりますので、ぜひ APOTC2024 のご参加もご検討ください。

また、今回も対面開催と Web 開催のハイブリッド形式を採用します。

#### ●開催概要

テーマ：作業療法の効果を最大化する知識・技術・環境を問う

会 期：2024 年 11 月 9 日 (土)～10 日 (日) (日曜日午前で終了)

会 場：札幌コンベンションセンター (北海道札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1)

学会長：仙石 泰仁 (札幌医科大学保健医療学部)

現在、演題募集中です。演題募集期間は 2024 年 1 月 9 日 (火) 正午～2 月 16 日 (金) 23 時まで。演題募集要項については、右記の QR コードから学会ホームページにアクセスし、ご確認ください。



第 58 回日本作業療法学会  
ホームページはこちら



2023 年 12 月 16 日、2023 年度 6 回目となる定例理事  
会が開催されました。

今回の定例理事会で、2024 年度の重点活動項目が承  
認されました。今回の理事会レポートでは全文を掲載します。

詳細な解説については、本誌第 145 号（2024 年 4 月 15  
日発行予定）に掲載する予定です。

→ 理事会抄録は p.25 ~ 26

## 2024 年度重点活動項目

### 地域共生社会の構築に寄与する作業療法の実現に向けた取り組みの推進

2024 年度は第四次作業療法 5 ヶ年戦略（地域共生社会 5 ヶ年戦略・組織力強化 5 ヶ年戦略）の 2 年目の年である。今次の 5 ヶ年戦略は、「人々の活動・参加を支援し、地域共生社会の構築に寄与する作業療法」を目指している。重点活動項目はこの継続的な取り組みのなかに位置付けられるため、その構造に即した項目立てを行い、特別重点項目を加えて整理した。

今年度は、地域で暮らすすべての人々を対象として、人々の活動・参加を支援し、地域における人のつながりや人と社会のつながりを創り出す作業療法をより具現化するための事業を推進する。そのためには、会員所属施設、各都道府県作業療法士会、学校養成施設とも有機的に連携して組織力を高めた体制整備を行い、作業療法士全体が一体となって取り組むこととする。

#### I. 地域共生社会 5 ヶ年戦略関連

1. 医療機関から企業や就労支援機関等への情報提供および連携に関する実践事例集の作成と周知（制度対策部）
2. 地域づくり支援に参画する取り組みのモデル化、自治体に関わる作業療法士の配置（市町村担当者等）の推進（地域社会振興部）
  - 1) 士会の状況に応じた柔軟な方法により、50%以上の市町村に担当者を配置し、市町村担当者—都道府県士会—協会員間の連携の組織化を推進
  - 2) 士会、事業所、会員個人が主導的に取り組む前駆的で作業療法の専門性を活かした地域づくり活動の支援、有効性の検証、モデル化して情報発信、実践を増やす事業の開始
3. 障害児・者の暮らしを豊かにする ICT 機器等の活用支援と人材育成（生活環境支援推進室）
4. 小・中学生を含む次世代に向けた作業療法の広報啓発事業の展開および広報媒体の拡充（制作広報室）

#### II. 組織力強化 5 ヶ年戦略関連

1. 新卒者・未入会者・退会者の入会促進と現会員の維持を図るため、会員ニーズを満たすサービスおよび多様な会費納入方法の検討等、部署横断的・継続的に取り組む各種事業の開始（組織率対策委員会・担当部・室）
2. 協会と都道府県作業療法士会、学校養成施設、会員所属施設が一体となって課題に取り組む体制構築を目的とした、モデル士会・モデル事業の検討・実施（組織率対策委員会）
3. 「協会員=士会員」実現のための方策と工程表について全士会と合意し、新士会システムに必要となる具体的な要件を整理（「協会員=士会員」実現のための検討委員会）

#### III. 特別重点項目関連

1. 第 8 回アジア太平洋作業療法学会（APOTC2024）への国内外の作業療法士の参加促進と開催の成功（APOTC 実行委員会）
2. 認知症者に対する作業療法の効果的な展開方法の普及に関すること
  - 1) 訪問による認知症のリハビリテーションの周知と普及（制度対策部）
  - 2) 認知症者とその家族や支援者に対する作業療法の効果的な広報の推進（制作広報室）



## 本会と都道府県士会による個別意見交換会 第1回開催

本誌第141号（2023年12月15日発行）のNEWSでお伝えした「本会と都道府県士会による個別意見交換会」が12月1日に開催されました。第1回となる今回は、本会と福岡県作業療法士協会（以下、福岡県士会）との間で行われました。本会からは山本伸一会長、大庭潤平副会長が、福岡県士会からは竹中祐二会長、濱本孝弘副会長、丹羽敦副会長、佐藤稔副会長・事務局長が参加しました。

まず山本会長から、新体制としての挨拶（Pledge-公約）として「1. 作業療法士の臨床力を確かなものにします」「2. 社会保障を守り、職域を拡大します」「3. 会員個人 - 職域（勤務先） - 各都道府県士会 - 学校養成施設 - 本会の集合体組織力を確固たるものにします」「4. 事務局は、迅速・正確・良質のある部署横断的な機能を強化します」の4点について説明がありました。また、組織力強化5ヵ年戦略（入会者の増・退会者の減を目指す）と組織対策委員会等によるアンケート調査報告の一部を報告しました。

### 福岡県作業療法士協会から 職域連携・教育連携について報告

福岡県士会は、職域（所属勤務先）や学校養成施設との連携強化にフォーカスをあてて報告しました。今まで取り組んできたことや工夫として、職域との連携においては「記念事業にて院長等への挨拶依頼や出席依頼、講義依頼」「研修会や懇親会での他事業所施設との情報交換の機会や交流の場の設置」。学校養成施設との連携においては、「養成教育協議会の発足」「臨床実習ガイドラインWGの発足」「入学式等での入会促進」「学生や保護者らへのアンケート調査」等が報告されました。さらなる連携強化に向けての課題としては、職域においては「会員個人への情報発信の仕組み」「勤務先管理者からの依頼要望窓口の設置と周知」「士会業務がボランティアであること」「士会活動に対する勤務先の理解を醸成し、職員が士会員であることのメリットどのように示すか」、養成教育においては「少子化」「作業療法士の認知度低下」「単位数の増加・学生の基礎学力低下等で教員が学内業務に追われて外部活動を行う余裕がなくなっている」「職能意識の低下」といったことが挙げられました。

### 地域社会で活躍できる作業療法士育成の 必要性を確認

地域共生社会のなかで作業療法士が役割を果たすために、起業者を増やし、さまざまな領域で活動支援ができる作業療法士を育成していくことが必要ではないかとの意見が挙がりました。多様な領域で活動できる人がいる一方で、できない人もおり、教育が必要との認識で一致しました。協会からは、報酬改定関連でも渉外活動を積極的に行っていること、子どもの発達支援、認知症、地域社会の領域で作業療法士が役割を担っていけるように関係機関へ伝えていることの説明がありました。また、多様な現場で働くことができる作業療法士を育てることが必要であることを強調しました。

教育の観点からは、認定作業療法士・専門作業療法士の数を増やす手段を考えてほしいという要望が挙げられました。これに関連して、作業療法士の役割として法律で規定されている「応用的動作能力の回復及び社会的適応能力の回復」を社会に対して強調していくことが重要ではないかという意見も出されました。協会からは、根幹となる法律について、諸外国は法律変更の動きがあることや作業療法士の専門性を伝えるためには法律を変える必要があると協会三役でも話をしているが課題もあることが話されました。加えて、作業療法士の地位向上に向けては、現状の危機感を共有するために作業療法士が一致団結する必要があり、政治活動についても一定の理解が必要であることを確認しました。

### 意見交換会を終えて 士会長・協会長の感想

竹中福岡県士会会長は意見交換会を次のように振り返りました。

「協会と士会の事業連携に関する意見交換会に士会三役で参加し、およそ100分間の有意義な時間を過ごすことができました。地域ごとに異なる状況がありますが、作業療法のさらなる発展と地域社会への貢献に向けて、意見交換し協力体制を確認することができました。協会の組織力強化に対するアイデアや提案は、全体として作業療法分野の発展に向けた共通の課題として捉えられました。山本会長、大庭副会長には御礼申し上げます。「会員勤務

先と団体の連携の強化」と「学校養成施設と団体の連携の強化」に関しては士会の現況をご報告し、いくつかの取り組みについては評価していただきました。今後、協会との連携により何かしらの成果が期待されます。」

また、山本会長からは「とても貴重な時間となりました。お忙しいなか、本当にありがとうございました。想定してい

たのは60分でしたが、作業療法に対する意見交換はまさに情熱を感じました。あつという間の100分。いただいたご意見は専用ホームページ等で各都道府県士会間で情報共有し、また協会事業にも活かしていきたいと存じます」とコメントしました。

## 全国矯正展で矯正における作業療法士の活動を紹介しました



ブースに多くの方に立ち寄っていただきました



会場で配布した司法領域の作業療法士を紹介するパンフレット

12月9日、10日の2日間にわたって、東京国際フォーラムにおいて「第63回全国矯正展（全国刑務所作業製品展示即売会）」が開催されました。本会は日本司法作業療法学会と連名で、司法領域の作業療法士の活動周知啓発のため、ブース出展を行いました。

全国の刑務所等では懲役刑受刑者の改善更生を目的として「刑務作業」が実施されています。その刑務作業の重要性や現状等について広く知ってもらうために、それぞれの刑務所等で行われている刑務作業についての広報を行うほか、実際に受刑者が刑務作業で制作した「刑務所作業製品」（CAPIC）を展示・販売するのが全国各地で行われている「矯正展」です。全国矯正展はその全国版で、法務省が主唱する「社会を明るくする運動」の中央行事の一環として毎年開催されています（2020年、2021年はコロナ禍のため中止）。これまで毎年6月に科学技術館で行われてきましたが、今回は時期と会場を変えての開催となりました。

広い会場には、全国各地の刑務所や少年院でつくられた、家具や靴、伝統工芸品、野菜やパン等約4万点が並び、メインステージでは警視庁音楽隊の演奏や農福連携のシンポジウムといったさまざまなイベントが行われ、2日間の来

場者は2万6千人を超えました。

2025年に始まる拘禁刑の概要を説明するコーナー、日本で最初に創立された少年院が今年で100年を迎えるのを記念した少年院の歴史を紹介するコーナー、法テラスや被害者支援団体等のブースもあり、矯正と更生にかかわる多角的な情報が得られる場でもあります。

本会・日本司法作業療法学会のブースでは、作業療法を紹介するパネル展示を行い、司法領域の作業療法パンフレット、ポストカード、クリアファイル等を配付し、作業療法について、矯正施設における作業療法士の活動について説明をしました。保護司をしている等、地域活動で出所者の支援に関心のある方、医療刑務所の医師や刑務官等、矯正施設の関係者、法学部の学生等、多くの方に立ち寄っていただきました。当会のブースに近接して、作業療法士が携わる機能向上作業を紹介・体験する府中刑務所のブースもあり、矯正施設における作業療法士の活動やその意味について、具体的に知ってもらう機会になりました。

矯正展は全国各地で開催されています。この領域に関心のある方は訪れてみてはいかがでしょうか。さまざまな情報が得られるとともに、司法領域で作業療法士ができることについて考えることができるかと思います。

明けましておめでとうございます。今年は APOTC 開催年です！

## 第8回アジア太平洋作業療法学会(APOTC2024)

互いに支えあう地域づくり  
—持続可能で根拠に基づいた作業療法—

会期：2024年11月6日(水)～9日(土)

会場：札幌コンベンションセンター

学会長：山本 伸一 (一般社団法人日本作業療法士協会会長)  
Ling-Hui Chang (アジア太平洋作業療法地域グループ会長)



8 APOTC.2024  
th Sapporo, Japan

新しい年が始まり、本年11月にはついに APOTC2024 が開催されます。そこで APOTC2024 で行われる基調講演やシンポジウムについて、改めてご案内させていただきます。

昨年末から海外からの事前参加登録も始まり、今年4月頃からはいよいよ本会会員の皆さんの事前参加受付も開始される予定です。11月まで、皆さん一緒に盛り上げていきましょう！

日程および各日のスケジュールについての詳細は、学会

ホームページをご覧ください。学術プログラムページは下の QR コードからアクセスできます。



●APOTC2024  
学術プログラムはこちら

### APOTC2024 基調講演・シンポジウム一覧

#### ●基調講演

基調講演 1 : Community Design : Create a system of the people, by the people, for the people (コミュニティデザイン：人と人がつながる仕組みをつくる)

日時：11月6日(水) 11:00 - 12:30

講師：山崎亮 (studio-L、関西学院大学)

基調講演 2 : Occupational Therapy ; Thriving on Opportunities (作業療法：成長の可能性)

日時：11月9日(土) 10:00 - 11:30

講師：Samantha Shann (イギリス、世界作業療法士連盟)

### ●佐藤剛記念講演

本会前会長の中村春基先生が佐藤剛記念アワードを受賞されました！ 受賞を記念して中村先生が壇・講演されます。

日時：11月7日（木）11：00 – 12：30

講師：中村春基（千里リハビリテーション病院）

### ●シンポジウム

#### シンポジウム1：Empowering Collaborative Community: Community development (互いに支えあう地域づくり：作業療法の視点から)

日時：11月6日（水）13：30 – 15：00

講師：Carolyn Unsworth（オーストラリア、Federation University Australia）

Sk.Moniruzzaman（バングラデシュ、Bangladesh Health Professions Institute）

河村晃依（北里大学）

#### シンポジウム2：Innovative Technology and Occupational Therapy (革新的なテクノロジーと作業療法)

日時：11月7日（木）9：00 – 10：30

講師：Tsan-Hsun Huang（台湾、OOPS limited Company/Ministry of Health and Welfare）

友利幸之介（東京工科大学）、ほか1名調整中

#### シンポジウム3：Building Evidence in Occupational Therapy (根拠に基づいた作業療法を構築するために)

日時：11月8日（金）9：00 – 10：30

講師：Ling-Yi Lin（台湾、National Cheng Kung University）

Bhing-Leet Tan（シンガポール、Singapore Institute of Technology）

竹林崇（大阪公立大学）

#### シンポジウム4：Innovative Role of Occupational Therapy (作業療法の新たな職域と無限の可能性)

日時：11月8日（金）11：00 – 12：30

講師：Ji Seokyeon（韓国、Center of Sensory Integration toward Social and Occupational being）

Ellie Fossey（オーストラリア、Monash University）

元廣惇（株式会社 Canvas）

### ●学会に関するお問い合わせ先

第8回アジア太平洋作業療法学会（APOTC2024）運営事務局

株式会社コンベンションリンケージ内

Email: apotc2024@c-linkage.co.jp

## 「生きる」を創るがん保険 WINGS・医療保険 EVER シンプル

本会では1999年よりアフラックとのがん保険・医療保険の集団取り扱い契約を締結しており、会員は割安な保険料での契約が可能になっています。これまでアフラックから本会会員へ給付されたがん保険・医療保険の給付金・保険金お支払い総額は1.2億円以上上っています（アフラック取り扱い時からの累計、アフラック給付実績調査、2023年10月調べ）。特に女性では「妊娠分娩および産褥」が医療保険支払部位の31.8%を占めており、続いて感染症・寄生虫症が19.0%と多くなっています（図1）。

今回は、がん保険・医療保険のメリットについて解説します。

### 代表的な病気・ケガのリスク

人のライフステージにはさまざまなリスクが潜んでいます。リスクに対する必要な保障は人それぞれですが、大きく分けて「死亡のリスク」「病気・ケガのリスク」「介護のリスク」「老後のリスク」の4つのリスクそれぞれに備えることが大切です。なかでも病気（重大疾病を含む）やケガによる入院や手術、それに伴う治療等の費用の負担は人生のど

のステージでも起こりうるリスクであり、これらに備えることは重要です。

代表的な「病気のリスク」について、紹介していきます。

### (1) 女性特有の疾病リスク

成熟期、更年期、老年期とライフステージが変わるごとに女性特有のリスクも変化するため、その時々のライフステージにあわせた保障が必要です（図2）。

### (2) 生活習慣病と三大疾病

生活習慣病とは、食事や運動、喫煙等の生活習慣に關して発症する病気のことを指します。代表的なものが、「三大疾病」と言われる、がん（悪性新生物、上皮内新生物）、心疾患（急性心筋梗塞、狭心症、心不全等）、脳血管疾患（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血等）です。厚生労働省の「令和4年（2022年）人口動態統計」によると、がん（悪性新生物）、心疾患、脳血管疾患の3つで死因の約46%を占めています。

生活習慣病が改善せず、病状が悪化した場合、さまざまなリスクがあり、入院が長期化する可能性が高まります（図3）。

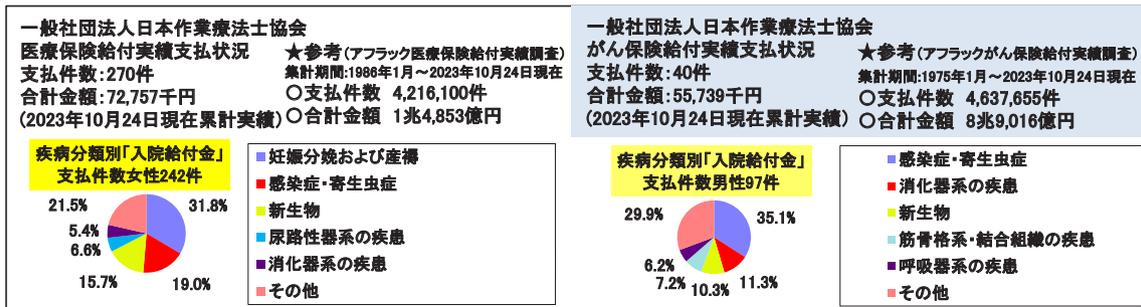


図1 本会会員への保険給付実績

女性は、男女共通でかかる病気のリスクに加えて、女性特有のリスクを抱えています。

### ● ライフステージごとの主な疾病のリスク(女性) (\*1)



(\*1) 厚生労働省「令和2年 患者調査」をもとにアフラック作成

(\*2) 厚生労働省「令和2年 医療施設(静態・動態)調査(確定数)・病院報告の概況」をもとにアフラック作成

図2 女性の疾病リスク

## 三大疾病は、入院が長期化する場合があります。

治療が続く限り治療費や諸経費の支払いは続くことになり、結果として**自己負担の総額は大きく**なってまいります。また、すぐに仕事へ復帰することが難しい場合には、**収入が減少**するかもしれません。

### ●退院患者の平均在院日数

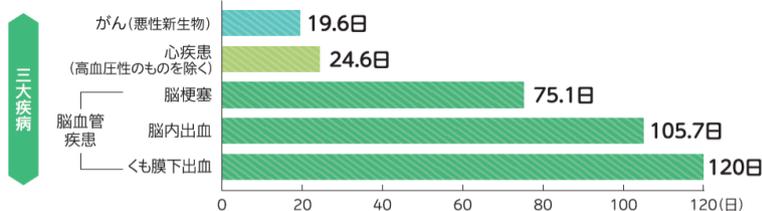
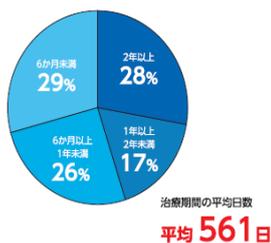


図3 三大疾病の入院日数

厚生労働省「令和2年 患者調査」をもとにアフラック作成

## がん治療は長期にわたることで治療費の総額が高くなることもあります

### ●抗がん剤またはホルモン剤治療を含む治療を受けた場合の治療期間<sup>※1</sup>



※1 回答数=1,659  
がん患者およびその家族へのアンケート調査(2022年5月アフラック実施)

### ●治療期間別の治療費の総額(平均)<sup>※2※3</sup>

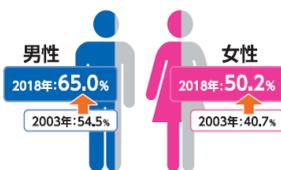


※2 上記の治療費は、治療にかかった費用のうち、公的医療保険対象となった費用と公的医療保険対象外の費用を合算したものです。なお、公的医療保険対象となった費用は、高額療養費制度を利用した後の自己負担額となっています。  
※3 回答数=4,889  
がん患者およびその家族へのアンケート調査(2022年5月アフラック実施)

図4 がん治療の期間と治療費

がんは2人に1人がかかる身近な病気で、男女ともに年齢が上がるほどがんにかかる割合が高くなります

### ■一生のうちがんと診断される割合



公益財団法人 がん研究振興財団「がんの統計(09-2022)集計がん罹患・死亡リスク 年齢階級別罹患リスク(2003年・2018年 罹患・死亡リスクに基づく)全がん

### ■がんにかかるリスク

年齢階級別 累積罹患リスク 2018年 全がん



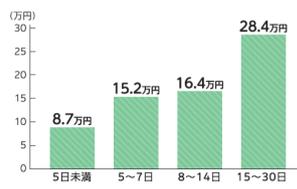
国立がん研究センターがん情報サービス「がん総研」グラフデータベース 累積罹患リスク(2018年のデータに基づく)をもとにアフラック作成

図5 がんにかかる割合

入院時には治療費だけでなく、まとまった費用が必要になることがあります。

### ●入院日数別自己負担費用の平均<sup>※1</sup>

【集計ベース:過去5年間に入院し、自己負担費用を支払った人(高額療養費制度を利用した人+利用しなかった人(適用外含む))】



※高額療養費制度を利用した場合は利用後の金額  
※治療費・食費・差額ベッド代に加え、交通費(現地に集まる家族の交通費も含む)や衣類、日用品などを含む。

※1 (公財)生命保険文化センター「2022(令和4)年度 生活保障に関する調査」をもとにアフラック作成

※2 差額ベッド代がかかる個室などを希望された場合、差額ベッド代が発生しないケースもあります

※3 厚生労働省「第528回中央社会保険医療協議会(主査)選定療養に係る報告状況(令和3年7月1日現在)」

**■入院に伴う諸経費の例**

- 差額ベッド代<sup>※2</sup>  
1日あたりの平均6,613円<sup>※3</sup>
- 入院中の日用品代  
(パジャマ・タオルなど)

(その他)●入院中の食費代 ●入院中のテレビ視聴費用  
●家族・付き添いの交通費 ●見舞い返し代  
●健康食品やサプリメントなどの費用  
●ペーシッター費用(お子さまが小さい場合) など

図6 入院費における自己負担額

### (3) 考えたい、「がん」になった時のこと

がんは1981年以来、42年連続で死因のトップであり、2022年は1年間で385,797人ががんで亡くなっています<sup>1</sup>。交通事故死亡者数<sup>2</sup>の147倍。約1分21秒に1人ががんで死亡している計算になります。男女ともに年齢が上がるほど、がんにかかる割合が高まり、勤労世代(20～64歳)のがん患者も増加傾向にあります<sup>3</sup>。このため、がんは男女ともにおよそ2人に1人がかかる身近な病気と言えます(図4)。

医療の進歩とともに、早期発見や治療の多様化により、5年生存率も上昇しており<sup>4</sup>、がんは治る時代と言われています。三大治療(手術、放射線治療、抗がん剤・ホルモン剤治療)や緩和療養等、治療法が多様化するなかで、近年では通院(外来)治療が増加傾向にあり、入院の割合を上回っています<sup>5</sup>。また、治療が長期にわたると、治療費の総額は高くなり、経済的負担は大きくなります(図5)。

アフラックの『『生きる』を創るがん保険 WINGS』は、三大治療や通院(外来)治療への幅広い保障で経済的負担をサポートします。がんは年齢が上がるほどがんにかかる割合が高くなります。「がん保険 WINGS」は一部の特約を除き終身保障の保険で、一般的に若いうちに契約した方が月々の保険料負担が少なくなります。また、健康に不安がある方も「経験者保険料率に関する特則」「特別条件特則」や「特別保険料率に関する特則」を付加してご契約をお引受けできる場合があります。がんを経験された方により優しいがん保険を提供しています。

### がん保険・医療保険のメリット

長い人生に潜む、主な病気のリスクについて解説しました。こうした病気・ケガのリスクへの備えとして、がん保険・医療保険があります。病気やケガでの入院は、独身の方

や結婚されている方にかかわらず、誰でも直面する可能性のあるリスクです。最近では入院日数は短期化の傾向にありますが、短期入院でもまとまった費用が必要になることもあります。手術・放射線治療を外来(日帰り)で受けることもあるため、その前後の通院に備える必要もあります。

公的な保障として高額療養費制度(1ヵ月当たりの医療費の自己負担額には上限が決められている)があるので、まずはこのような公的保障を理解したうえで、入院や治療の長期化といったリスクに備えるがん保険・医療保険を検討しましょう(図6)。

「医療保険 EVER シンプル」は、高額療養費制度の自己負担額を踏まえた保障や、入院・通院時の諸経費の保障を備えることができます。また、すでに医療保険に加入している方も、現在のご契約の保障内容を活かしつつ、保障を最新化することができます(EVER シンプル プラスプランの場合)。

必要な保障は人それぞれ異なりますので、リスク対策がきちんとできているのか不安という方は一度専門家に相談してみましょう。

### 【注】

- \*1 厚生労働省「令和3年人口動態統計」
- \*2 警察庁交通局「交通事故死亡者数について」令和4年
- \*3 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)1975年～2019年診断年
- \*4 全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年生存率報告(国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター、2020)、独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発費「地域がん登録精度向上と活用に関する研究」平成22年度報告書
- \*5 厚生労働省 平成17.20.23.26.29. 令和2年 患者調査

●商品の詳細は「契約概要」等をご確認ください。

一般社団法人日本作業療法士協会様専用「がん医療情報サイト」



●がんや医療介護情報を知りたい方はこちらから！

☞ <https://www.workers-portal.jp/benefit/200355/news/>

●保険商品の保障内容確認、見積もり、資料請求やご相談はこちらから！

☞ <https://www.workers-portal.jp/benefit/200355/simulation/index>



👉動画でよくわかる！  
「医療保険の必要性」



👉動画でよくわかる！  
「がん保険の必要性」



<募集代理店>  
株式会社トータル保険サービス  
東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン23階  
TEL: 0120-307-024 (平日9-16時 土日祝除く)

<引受保険会社>  
アフラック 東京第一法人営業部  
東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19階  
TEL: 03-6367-3675

(AF003-2023-0645 11月27日 (251127))



## 各部の動き

### 制度対策部

#### ●令和6年度改定の基本方針について

令和6年度の診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定に向けて、改定率が、診療報酬（本体）で+0.88%、介護報酬で+1.59%、障害福祉サービス等報酬で+1.12%と公表されました。また、現在改定の基本方針が始めています。基本方針についてはいずれも、厚生労働省のホームページより確認できます。診療報酬改定は、12月11日社会保障審議会（医療保険部会）>令和6年度診療報酬改定の基本方針（[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_36801.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36801.html)）、介護報酬改定は、12月18日第236回社会保障審議会介護給付費分科>令和6年度介護報酬改定に関する審議報告（案）（[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_36886.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36886.html)）、障害福祉サービス等報酬改定は、12月6日障害福

祉サービス等報酬改定検討チーム>令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の基本的な方向性について（[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_36775.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36775.html)）で閲覧できます。

リハビリテーション・口腔・栄養の推進や、訪問リハビリテーションにおける集中的な認知症リハビリテーションの推進、自立訓練（機能訓練）の提供主体の拡充等、作業療法（士）にかかわる改定も多くみられますので、目を通してみてください。また、令和6年度の改定はこれまでと異なり、診療報酬と介護報酬は6月1日から施行される予定です（障害福祉サービス等報酬改定については2023年12月現在、明示されていません）。

報酬改定や法改正等の最新情報は随時会員ポータルサイトに掲載しておりますので、併せてご確認ください。

### 国際部

#### ●第57回日本作業療法学会（沖縄）にて各国際関連事業を開催

##### 1) アジア作業療法協会交流会

学会前日（11月9日）に、ハイブリッド形式にて開催されました。一般公開された午後の部では、香港、韓国、フィリピン、シンガポール、台湾、日本の各協会代表者が「Post COVID-19 Issues Particularly in Each Country」をテーマに発表を行い、一般Web参加を含めて国内外76名の方にご参加いただき有意義な時間となりました。

##### 2) 国際企画プログラム

第57回日本作業療法学会（沖縄）のプログラムとして、インドネシア作業療法協会 WFOT 代表の Tri Budi Santoso 氏を講師としてお迎えし、「The Development of Occupational

Therapy and Cultural Impact on Occupational Therapy Services in Indonesia」と題して、インドネシアの作業療法についてご講演いただき、動画を配信しました。

##### 3) 日本 - 台湾ジョイントシンポジウム

学会の会期2日目（11月11日）に、学術交流協定締結1周年を記念したシンポジウムとして開催されました。日本と台湾から合計4名の講師が発表を行い、フロアを交えて活発な質疑応答が繰り広げられました。

#### ●国際人材開発事業に伴うアンケートの実施

日本在住の海外作業療法士免許取得者および海外在住の日本国作業療法士免許取得者の現況調査のため、Webアンケートを実施中です。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

### 地域社会振興部

#### ●運転と地域移動に関する都道府県士会協力者会議を開催

地域事業支援課運転と地域移動推進班では、「運転と地域移動に関する都道府県士会協力者会議」を12月2日にWeb開催しました。この会議は2年に一度行われており、今回で4回目となります。各都道府県士会より、協力者および聴講者含めて100名近い方にご参加いただき、当班からの情報発信や士会間での情報交換を行いました。

前半は本会からの報告と、島根県作業療法士会の田中良佳

氏より「島根県教習所協会との取り組みとその経緯について」を、石川県作業療法士会の高間達也氏より「自動車教習所で働く作業療法士～自動車学校の中から見えたこと～」をご報告いただきました。後半はブロックごとに分かれてのグループワークと、「士会内の地域の自動車運転に関するネットワーク、連携についてと地域での移動全般について」と題して、士会の現状や状況についての情報交換を行いました。全体での報告では各士会の情報や課題が共有でき、有意義な会議を開催できました。



# 委員会等名簿 (2023年12月現在)

(2023年12月22日現在)

## 【常設委員会】

作業療法マニュアル編集委員会			
委員長	清野 敏秀(5628)		
副委員長	守谷 梨絵(23923)		
	竹原 敦(2863)	近野 智子(4816)	
	山本 泰雄(9781)	杉村 直哉(18867)	
	坪井 理佳(20780)	田中 亮(27081)	
	畠山 久司(45796)		

学術誌編集委員会			
委員長	小林 法一(4718)		
副委員長	斎藤 和夫(4257)		
副委員長	仙石 泰仁(2243)		
[作業療法]	編集長 斎藤 和夫(4257)		
	副編集長 能登 真一(7785)		
	副編集長 飯脇 健司(9046)		
	副編集長 三木 恵美(10346)		
	久野 真矢(3349)	大堀 具視(4267)	
	石附 智奈美(4907)	大野 宏明(7279)	
	松本 政悦(7942)	小澤 恭子(8493)	
	務台 均(9930)	竹田 里江(11477)	
	今井 忠則(11522)	山根 伸吾(12017)	
	友利 幸之介(13847)	佐々木 努(17317)	
	上村 純一(18986)	川又 寛徳(20314)	
	小枝 周平(25206)	平賀 勇貴(40884)	
査読者	小山内 隆生(1154)	坂本 俊夫(1581)	
	佐藤 彰博(1767)	坂本 安令(1844)	
	中村 眞理子(1971)	加藤 拓彦(1978)	
	藤原 瑞穂(2083)	仙石 泰仁(2243)	
	四本 かやの(2280)	花岡 秀明(2303)	
	西村 誠次(2816)	池田 望(3150)	
	奈良 篤史(3197)	窪田 正大(3461)	
	伊藤 祐子(3547)	成田 秀美(3617)	
	早川 裕子(3889)	横井 賀津志(3930)	
	西田 征治(4452)	五百川 和明(4630)	
	押野 修司(4696)	倉澤 茂樹(4704)	
	中島 そのみ(4973)	西方 浩一(4975)	
	白濱 勲二(5115)	佐野 恭子(5689)	
	田島 明子(5837)	田邊 浩文(6162)	
	上谷 英史(6946)	平川 裕一(6975)	
	青山 克実(7253)	千葉 登(8017)	
	大浦 智子(8883)	鈴木 めぐみ(8938)	
	太田 久晶(8961)	石岡 俊之(9124)	
	田中 真(9519)	松原 麻子(9598)	
	宮原 智子(9749)	花家 竜三(10900)	
	猪股 英輔(11335)	伊藤 玲子(12003)	
	白戸 力弥(12288)	林 浩之(12368)	
	蓬莱谷耕士(13154)	木村 大介(13586)	
	渡部 悠司(13587)	真下 いずみ(14195)	
	松島 佳苗(15290)	早坂 友成(15377)	
	中村 泰久(15329)	長山 洋史(16176)	
	澤田 辰徳(16198)	小川 真寛(16225)	
	中田 修(16233)	泉 良太(16302)	
	中山 淳(17248)	由利 祿巳(17659)	
	中村 充雄(17916)	南 征吾(18350)	
	佐賀里 昭(18695)	杉村 直哉(18867)	
	宮本 礼子(18949)	片岡 聡子(19271)	
	金谷 匡紘(19606)	竹林 崇(19899)	
	石橋 裕(19904)	磯 直樹(20081)	
	小野 健一(20180)	高木 雅之(22098)	
	大岸 太一(22198)	井口 知也(22907)	
	清本 憲太(22957)	兼田 敏克(23578)	
	及川 直樹(23991)	佐々木 祥太郎(24344)	
	星野 藍子(24409)	丁子 雄希(25790)	

	中嶋 理帆(25795)	杉村 誠一郎(25804)
	塩田 繁人(25815)	森元 隆文(26059)
	井部 光滋(26525)	吉田 一平(26581)
	中岡 和代(26714)	山田 恭平(26737)
	花田 恵介(27121)	澄川 幸志(27582)
	小玉 武志(28634)	佐々木 秀一(30745)
	長城 晃一(30873)	藤田 貴昭(31524)
	外川 佑(31537)	島田 岳(32601)
	松本 幸樹(34282)	久米 裕(34678)
	小池 祐士(34793)	岡部 拓大(34927)
	成田 大地(35411)	中西 康祐(36067)
	大松 聡子(36330)	塩津 裕康(36841)
	増田 雄亮(37074)	平田 淳也(39063)
	吉田 太樹(39910)	河埜 康二郎(40371)
	元廣 惇(40710)	細川 大瑛(41209)
	清家 庸佑(41246)	小川 泰弘(42024)
	五十嵐 剛(43467)	横山 和樹(43673)
	大野 勘太(44455)	藤村 健太(44535)
	趙 吉春(45181)	村上 正和(47090)
	天野 眺(48613)	東 泰弘(50630)
	東恩納 拓也(59852)	富澤 涼子(79360)
[AsJOT]	編集長 仙石 泰仁(2243)	
	佐々木 学(2129)	中島 そのみ(4973)
	佐々木 努(17317)	金谷 匡紘(19606)
	山田 恭平(26737)	
査読者	上村 智子(1350)	小林 正義(1908)
	坂上 真理(3310)	伊藤 祐子(3547)
	岩永 竜一郎(3666)	宮口 英樹(4639)
	岸上 博俊(6660)	能登 真一(7785)
	越後 歩(8880)	太田 久晶(8961)
	中村 裕二(10136)	桐本 光(10212)
	鈴木 誠(10753)	竹田 里江(11477)
	白戸 力弥(12288)	車谷 洋(14101)
	松島 佳苗(15290)	高橋 香代子(16784)
	千見寺 貴子(16989)	ボンジェ ベイター(18745)
	宮本 礼子(18949)	上村 純一(18986)
	李 範奭(23762)	及川 直樹(23991)
	星野 藍子(24409)	小枝 周平(25206)
	吉田 一平(26581)	金子 翔拓(30261)
	高島 理沙(35698)	増田 雄亮(37074)
	吉田 太樹(39910)	東 泰弘(50630)

課題研究審査会		
委員長	北上 守俊(26152)	
副委員長	佐野 哲也(25011)	
	東 登志夫(3118)	中島 そのみ(4973)
	佐賀里 昭(18695)	磯 直樹(20081)
	木下 亮平(38916)	石井 大典(54178)
	武田 智徳(41039)	

研究倫理審査会		
委員長	能登 真一(7785)	
副委員長	長尾 哲男(301)	
	岩瀬 義昭(1223)	早坂 友成(15377)
	長谷川 幹(外部専門家)	
	山田 雅康(外部専門家)	
研究倫理審査会	委員長 早坂 友成(15377)	
予備部会	副委員長 木下 亮平(38916)	
	伊達 翔太(55213)	

教育審議委員会			
委員長	丹羽 敦(2464)		
副委員長	瀧本 孝弘(5228)		
	長谷 麻由(6311)	高木 勝隆(4221)	
	田中 佐千恵(15185)	上原 亮介(22390)	
	原田 祐輔(30942)	金子 隆生(40207)	

教育関連審査会			
委員長	佐竹 勝(426)		
副委員長	五十嵐 市世(1284)		
	山田 孝(495)	大黒 一司(1112)	
	鈴木 孝治(1182)	青山 宏(1266)	
	徳永 千尋(1531)	谷村 浩子(1545)	
	千島 亮(1569)	平松 真奈美(1578)	
	藤部 百代(1583)	山田 大豪(1611)	
	陣内 大輔(1653)	加藤 拓彦(1978)	
	向 文緒(2039)	岡野 昭夫(2298)	
	水島 真由美(2539)	深谷 直美(2667)	
	池田 望(3150)	仲辻 良仁(3996)	
	小倉 由紀(4313)	大久保 美也子(4515)	
	中島 ともみ(4577)	佐々木 俊二(5785)	
	佐藤 純(6017)	松本 嘉次郎(8639)	
	小林 幸治(9929)	有久 勝彦(14004)	
	徳地 亮(14026)	真下 いずみ(14195)	
	関森 英伸(14859)	田中 創(16955)	
	熊谷 隆史(17849)	古川 恭授(20083)	
	鷹左右 由紀(21376)	生田 純一(22767)	
	西城 学(24416)	金谷 圭子(25187)	
	小枝 周平(25206)	織織 功(26544)	
	佐藤 祐樹(28292)	杉野 達也(36819)	
	金子 隆生(40207)	金子 祐大(40505)	
	竹田 和也(44607)	白鳥 慶司(45023)	
	藤井 啓介(45596)	太田 皓文(50158)	
	鍵野 将平(51767)		

診療報酬改定対策委員会			
委員長	佐尾 健太郎(12895)		
	藤岡 晃(8809)	島崎 寛将(16628)	
	川本 徹(18828)	早川 貴行(29496)	
	乙黒 竜一(30357)		

介護報酬改定対策委員会			
委員長	土井 勝幸(6054)		
	茂木 有希子(9797)	澤潟 昌樹(13351)	
	伊藤 篤史(25237)	都甲 幹太(32656)	

障害福祉サービス等報酬改定対策委員会			
委員長	渡邊 忠義(1434)		
	三澤 一登(1338)	酒井 康年(18655)	
	有川 真弓(19370)	嘉門 邦岳(22567)	
	金川 善衛(24455)	野崎 智仁(29859)	

地域共生社会対策委員会			
委員長	佐藤 孝臣(4084)		
副委員長	小林 法一(4718)		
	由利 禄巳(17659)	田中 明美(外部専門家)	

運転と地域移動推進委員会			
委員長	藤田 佳男(9351)		
副委員長	小倉 由紀(4313)		
	澤田 辰徳(16198)	西 則彦(16729)	
	田中 創(16955)	生田 純一(22767)	
	鍵野 将平(51767)		
	三村 将(外部専門家)		
	蓮花 一己(外部専門家)		
	横山 雅之(外部専門家)		

国際諮問委員会			
委員長	佐藤 善久(1139)		
	石橋 英恵(2089)	大庭 潤平(8129)	
	友利 幸之介(13847)	高橋 香代子(16784)	

海外研修助成制度審査会			
委員長	清水 ゆり恵(36865)		
	坂田 祥子(2434)	中島 そのみ(4973)	
	長谷 麻由(6311)	佐野 哲也(25011)	
	吉田 太樹(39910)		

MTDLP事例審査会			
委員長	田村 大(12381)		
副委員長	高橋 啓吾(18538)		
	石川 隆志(2471)	高見 美貴(2509)	
	竹内 さをり(4448)	柴田 八衣子(5344)	
	西谷 すずな(2109)	石川 隆志(2471)	
	高見 美貴(2509)	村木 敏子(3307)	
	山本 紀子(3885)	青山 和美(4065)	
	佐藤 由子(4401)	竹内 さをり(4448)	
	柴田 八衣子(5344)	佐藤 純(6017)	
	藤嶋 聖子(6249)	長谷 麻由(6311)	
	三原 裕子(7225)	浅野 友佳子(7384)	
	宮本 香織(9120)	米井 浩太郎(10663)	
	小林 央(10862)	今宮 睦美(10979)	
	根田 英之(10982)	鹿子 供宏(11070)	
	田村 大(12381)	鈴木 健朗(13319)	
	小野 かおり(14578)	鈴木 陽子(16671)	
	熊谷 隆史(17849)	高橋 啓吾(18538)	
	中山 大樹(18567)	金谷 匡紘(19606)	
	佐々木 智里(21108)	宗像 暁美(21257)	
	佐藤 晃太郎(21811)	宗像 沙千子(22050)	
	三浦 晃(24873)	金谷 圭子(25187)	
	内野 保則(25289)	塩田 繁人(25815)	
	吉田 瑞妃(26243)	佐藤 祐樹(28292)	
	阿部 純平(29041)	熊谷 篤史(30297)	
	都甲 幹太(32656)	西 聡太(33325)	
	村仲 隼一郎(34442)	寛 智裕(35268)	
	二木 理恵(36296)	伊藤 崇(37610)	
	中塚 聡(39472)	鬼木 徳子(39650)	
	森田 和幸(39673)	荒井 英俊(42315)	
	高杉 雄太(44830)	清水 拓人(45593)	
	大塚 萌(46355)	藤原 謙吾(47409)	
	平澤 利博(48927)	岩崎 竜弥(64426)	

広報戦略委員会			
委員長	梶原 幸信(4438)		
	米井 浩太郎(10663)	浅倉 恵子(13254)	
	岡村 忠弘(17494)	山口 理貴(42015)	

選挙管理委員会			
委員長	伊藤 貴子(1946)		
	斉藤 毅(35025)	鈴木 嘉子(17341)	
	八木 正樹(38583)	清水 翔鳥(39090)	

表彰審査会			
委員長	種村 留美(815)		
副委員長	酒井 康年(18655)		
	進藤 浩美(832)	刈山 和生(1760)	
	東 祐二(2077)	石川 隆志(2471)	
	仲田 和恵(4363)	篠原 美穂(5284)	

倫理委員会	
委員長	太田 睦美(541)
副委員長	酒井 康年(18655)
	倉富 眞(746) 高畑 進一(1804)
	坂田 祥子(2434) 中西 英一(5221)
	磯野 弘司(8781) 片岡 聡子(19271)
	小山内 啓(35932)

会員福利厚生委員会	
委員長	仲田 和恵(4363)
副委員長	高梨 信之(10099)
	平賀 昭信(824) 川原 薫(834)
	岡本 佳江(2722) 四本 伸成(2812)
	畑田 早苗(4628) 古屋 豊美(6122)
	三枝 致里(14011)

### 【特設委員会】

組織率対策委員会	
委員長	林 義巳(2041)
副委員長	木下 大介(7541)
副委員長	松本 嘉次郎(8639)
	渡邊 聡(23930) 星野 藍子(24409)
	武内 元(27327) 田原 真悟(27471)
	熊谷 竜太(30404) 小澤 孝典(66959)

作業療法ガイドライン編集委員会	
委員長	石川 隆志(2471)
副委員長	高見 美貴(2509)
	仙石 泰仁(2243) 東 登志夫(3118)
	星野 藍子(24409) 塩田 繁人(25815)

学術委員会	
委員長	東 登志夫(3118)
	村井 千賀(965) 田平 隆行(5952)
	友利 幸之介(13847) 澤田 辰徳(16198)
	塩田 繁人(25815)
組織的学術研究 小委員会	委員長 田平 隆行(5952) 副委員長 友利 幸之介(13847)
	澤田 辰徳(16198) 助川 文子(25398)
	島田 岳(32601) 中西 康祐(36067)
ICFデータ収集分析 システム検討 小委員会	委員長 村井 千賀(965) 副委員長 塩田 繁人(25815)
	鈴木 孝治(1182) 能登 真一(7785)
	田村 大(12381) 河埜 康二郎(40371)
疾患別学術対策 小委員会	委員長 塩田 繁人(25815)
	生須 義久(3399) 山田 ともみ(12279)
	小林 勇矢(13195) 光永 清(18264)
	阿瀬 寛幸(19021) 熊野 宏治(25758)
	櫻井 卓郎(30621) 笹井 祥充(39570)
	児島 範明(50660)

学会企画委員会	
委員長	泉 良太(16302)
副委員長	岩波 潤(29276)
	柴田 克之(1300) 村田 和香(1403)
	長尾 徹(1576) 仙石 泰仁(2243)
	能登 真一(7785) 天野 晧(48613)
	羽田 舞子(91239)
第7期(2024~2026) 学会演題査読者	原 和子(46) 菊池 恵美子(117)
	清水 一(296) 佐々木 清子(700)
	上田 薫(791) 酒井 弘美(897)
	吉川 ひろみ(1008) 大松 慶子(1038)
	福井 信佳(1092) 佐藤 善久(1139)
	小山内 隆生(1154) 神作 一実(1173)
	鈴木 孝治(1182) 津田 勇人(1241)
	田山 智子(1268) 玉垣 努(1270)
	藤本 幹(1297) 柴田 克之(1300)
	國友 淳子(1310) 鈴木 由美(1344)
	上村 智子(1350) 村田 和香(1403)
	野尻 明子(1410) 杉山 いずみ(1428)
	中村 茂美(1433) 鎌田 樹寛(1435)
	菅野 圭子(1502) 野田 和恵(1541)
	長尾 徹(1576) 坂本 俊夫(1581)
	陣内 大輔(1653) 坂井 一也(1678)
	米崎 二郎(1703) 伊藤 誠一(1709)
	赤松 智子(1721) 志水 宏行(1725)
	立山 清美(1752) 春原 るみ(1832)
	坂本 安令(1844) 石本 馨(1857)
	秋山 恭延(1880) 小林 正義(1908)
	中村 眞理子(1971) 加藤 拓彦(1978)
	加藤 寿宏(2003) 本多 ふく代(2054)
	守口 恭子(2059) 藤原 瑞穂(2083)
	石山 満夫(2094) 小林 隆司(2104)
	千田 聡明(2124) 佐々木 学(2129)
	大橋 幸子(2233) 仙石 泰仁(2243)
	四本 かやの(2280) 西出 義明(2300)
	花岡 秀明(2303) 中村 裕美(2329)
	谷岡 三千代(2439) 麦井 直樹(2456)
	石川 隆志(2471) 山田 裕子(2478)
	高見 美貴(2509) 西出 康晴(2522)
	水島 眞由美(2539) 原口 健三(2599)
	杉原 勝美(2635) 市田 忍(2650)
	岩井 和子(2654) 大山 峰生(2659)
	砂古川 雅子(2743) 吉田 直樹(2806)
	西村 誠次(2816) 竹原 敦(2863)
	花井 弘和(2916) 鴨下 賢一(2963)
	伊藤 公一(2975) 東 登志夫(3118)
	石井 良和(3140) 池田 望(3150)
	新宮 尚人(3202) 松本 琢磨(3249)
	坂上 真理(3310) 坂本 美香(3315)
	桐山 由利子(3333) 久野 真矢(3349)
	生須 義久(3399) 田尻 寿子(3429)
	窪田 正大(3461) 長谷川 龍一(3483)
	宇田 薫(3515) 古山 千佳子(3594)
	成田 秀美(3617) 伊藤 信寿(3622)
	塩原 直美(3735) 松下 太(3769)
	柴田 貴美子(3831) 外里 富佐江(3847)
	佐藤 寿晃(3870) 早川 裕子(3889)
	山野 克明(3919) 横井 賀津志(3930)
	神谷 詠子(3947) 平本 憲二(3978)
	奈良 浩之(4001) 小池 伸一(4058)
	久信田 千津子(4097) 奥村 修也(4115)
	井上 和博(4135) 鴻 真一郎(4184)
	吉野 智佳子(4189) 斎藤 和夫(4257)
	會田 玉美(4263) 小倉 由紀(4313)
	菊池 和美(4332) 角田 明子(4351)
	大川 浩子(4361) 笹田 哲(4380)
	大畠 久典(4413) 篠崎 雅江(4414)

森 直樹(4420) 竹内 さをり(4448)  
西田 征治(4452) 池田 真紀(4574)  
中島 ともみ(4577) 今西 里佳(4578)  
藤原 健一(4591) 林 正春(4608)  
五百川 和明(4630) 本家 寿洋(4665)  
宮口 英樹(4693) 押野 修司(4696)  
倉澤 茂樹(4704) 小林 法一(4718)  
辻 陽子(4765) 花房 謙一(4845)  
石附 智奈美(4907) 稲富 宏之(4967)  
中島 そのみ(4973) 高多 真裕美(4977)  
渡邊 愛記(5023) 谷村 厚子(5036)  
白濱 勲二(5115) 藤田 高史(5136)  
福田 健一郎(5173) 赤羽 美和(5244)  
彌田 剛(5282) 菅原 光晴(5315)  
山形 力生(5380) 関 一彦(5420)  
堀 敦志(5458) 小泉 雄一(5478)  
安永 雅美(5529) 鈴木 康子(5560)  
足立 一(5580) 小林 郁(5665)  
佐野 恭子(5689) 江渡 義児(5698)  
高橋 恵一(5781) 鈴木 順子(5794)  
田島 明子(5837) 大瀧 誠(5841)  
田平 隆行(5952) 内藤 泰男(6124)  
能村 友紀(6159) 田邊 浩文(6162)  
藤嶋 聖子(6249) 長谷 麻由(6311)  
井上 順一(6415) 白石 英樹(6509)  
赤間 公一(6555) 石川 健二(6587)  
世良 彰康(6717) 古郡 恵(6782)  
原田 康江(6797) 岡本 利子(6799)  
木下 勝範(6806) 西久保 真弓(6924)  
上谷 英史(6946) 平川 裕一(6975)  
高木 大輔(6976) 坂下 竜也(6997)  
井上 慎一(7026) 中居 真紀子(7049)  
青山 克実(7253) 大橋 宏明(7279)  
上城 憲司(7306) 高田 明子(7356)  
巽 絵理(7370) 浅野 友佳子(7384)  
十枝 はるか(7388) 藤田 さより(7466)  
岡本 幸(7498) 佐々木 千寿(7575)  
能登 真一(7785) 松本 政悦(7942)  
矢野 高正(8007) 大庭 潤平(8129)  
菅沼 一平(8212) 鈴木 健太郎(8237)  
神保 武則(8270) 建木 健(8292)  
小澤 恭子(8493) 白井 はる奈(8633)  
上島 健(8680) 河村 竜史(8729)  
眞々部 仁美(8909) 大森 大輔(8923)  
鈴木 めぐみ(8938) 中西 弥生(8943)  
大蔵 太郎(8956) 太田 久晶(8961)  
佐藤 拓也(8998) 藪脇 健司(9046)  
石岡 俊之(9124) 渡邊 誠(9142)  
中前 智通(9181) 有光 一樹(9244)  
藤田 佳男(9351) 山岸 誠(9420)  
嶋川 昌典(9470) 亀ヶ谷 忠彦(9483)  
田中 真(9519) 川嶋 猛(9574)  
松原 麻子(9598) 宮原 智子(9749)  
浅野 朝秋(9763) 山本 泰雄(9781)  
北山 淳(9923) 小林 幸治(9929)  
務台 均(9930) 河本 敦史(9993)  
前田 亮介(10001) 吉満 孝二(10068)  
中村 裕二(10136) 桐本 光(10212)  
三木 恵美(10346) 澤田 泰洋(10517)  
四元 孝道(10554) 高島 千敬(10629)  
阿部 祐子(10638) 鈴木 誠(10753)  
世良 龍哉(10780) 佐藤 大介(10936)  
木村 努(10938) 塚田 徹(10983)  
栞原 由喜(11017) 朝倉 起己(11169)  
石井 誠二(11179) 森枝 繁奈(11298)  
猪股 英輔(11335) 竹田 里江(11477)  
爲近 岳夫(11502) 今井 忠則(11522)

一木 愛子(11704) 石田 順子(11792)  
黒住 千春(11891) 井村 亘(11892)  
小林 博之(11904) 山根 伸吾(12017)  
渡邊 基子(12054) 白戸 力弥(12288)  
岸村 厚志(12295) 鎌田 陽之(12346)  
林 浩之(12368) 谷淵 加奈子(12579)  
齋藤 佑樹(12662) 竹嶋 理恵(12787)  
片桐 一敏(12836) 藤本 一博(12872)  
長谷川 明洋(12888) 永井 貴士(12941)  
石橋 仁美(12974) 梶田 博之(13109)  
小林 勇矢(13195) 加藤 貴志(13284)  
岩崎 也生子(13468) 木村 大介(13586)  
後藤 進一郎(13683) 友利 幸之介(13847)  
玉那覇 迅(13910) 林 亜遊(14044)  
尾崎 勝彦(14117) 中村 美緒(14194)  
出口 弦舞(14373) 玉木 聡(14421)  
香山 恭範(14425) 曾根 稔雅(14433)  
鈴木 雄介(14464) 生方 剛(14556)  
早川 智美(14723) 関森 英伸(14859)  
古賀 誠(15040) 秋山 尚也(15041)  
田中 佐千恵(15185) 中村 泰久(15329)  
早坂 友成(15377) 石井 利幸(15434)  
行 功一郎(15476) 小松 洋平(15491)  
中武 潤(15493) 川村 明代(15517)  
鎗田 英樹(15625) 山田 麻和(15650)  
橋本 弘子(15696) 仙波 梨沙(15710)  
丹羽 恭代(15756) 今 かおり(15781)  
金子 美鈴(15906) 杉村 彰悟(15980)  
長山 洋史(16176) 澤田 辰徳(16198)  
小川 真寛(16225) 中田 修(16233)  
吉澤 いづみ(16245) 野口 卓也(16246)  
神山 真美(16299) 泉 良太(16302)  
高橋 陽介(16409) 高橋 里奈(16519)  
石井 陽史(16560) 村岡 健史(16577)  
石浦 佑一(16635) 高橋 香代子(16784)  
岩尾 武宜(16936) 田中 創(16955)  
鈴木 優喜子(17069) 野中 信宏(17112)  
中山 淳(17248) 佐々木 努(17317)  
水野 健(17323) 鈴木 嘉子(17341)  
白砂 寛基(17401) 寺門 貴(17507)  
石井 清志(17623) 由利 禄巳(17659)  
山本 麻子(17675) 池田 晋平(17786)  
中村 竜雄(17916) 竹内 佳子(17991)  
稲熊 成憲(17993) 栗原 良子(17999)  
西井 正樹(18028) 狩長 弘親(18083)  
宮本 忠司(18241) 光永 済(18264)  
南 征吾(18350) 緑川 学(18429)  
永野 亮太(18521) 塚越 千尋(18607)  
吉岡 奈々(18674) 佐賀里 昭(18695)  
河野 眞(18747) 大野 力(18749)  
小川 絹絵(18829) 中村 篤(18884)  
宮本 礼子(18949) 上村 純一(18986)  
小森 健司(19008) 阿瀬 寛幸(19021)  
池知 良昭(19033) 小幡 一美(19044)  
二見 文規(19225) 松本 多正(19228)  
青木 佑介(19258) 宮城 若子(19267)  
宮嶋 愛弓(19342) 有川 真弓(19370)  
藤目 智博(19379) 鈴木 達也(19523)  
須山 夏加(19571) 前田 正憲(19597)  
金谷 匡紘(19606) 安永 正則(19655)  
山田 玄太(19697) 石橋 裕(19904)  
磯 直樹(20081) 西本 敦子(20122)  
小野 健一(20180) 藤原 和彦(20194)  
金山 祐里(20198) 平上 尚吾(20215)  
森脇 繁登(20218) 大西 正二(20278)  
松井 善也(20290) 川又 寛徳(20314)  
齊藤 隆一(20334) 大寺 亜由美(20449)

原 麻理子(20574) 成田 雄一(20583)  
津曲 優子(20783) 石垣 賢和(20828)  
石川 哲也(20976) 牧山 大輔(21207)  
莊司 さやか(21323) 藤井 洋有(21649)  
川瀬 智隆(21726) 恩村 直人(21755)  
山本 清治(21770) 平野 大輔(21771)  
佐藤 晃太郎(21811) 高木 克実(21925)  
高木 雅之(22098) 阿諏訪 公子(22229)  
平澤 勉(22411) 櫻井 利康(22525)  
對間 泰雄(22585) 三宅 優紀(22632)  
中村 元紀(22727) 生田 純一(22767)  
椎野 良隆(22786) 柴田 美雅(22796)  
熊谷 純久(22807) 飯尾 円(22816)  
井口 知也(22907) 清本 憲太(22957)  
齋藤 利恵(23063) 田中 克一(23067)  
坂田 亮(23285) 穴村 聡(23293)  
佐藤 雅晃(23556) 兼田 敏克(23578)  
大澤 彩(23678) 中西 一(23746)  
加藤 るみ子(23747) 半谷 智辰(23880)  
守谷 梨絵(23923) 清水 大輔(24207)  
星野 藍子(24409) 百武 光一(24600)  
渋谷 玲二(24628) 富居 泰臣(24904)  
井戸 芳和(25008) 佐野 哲也(25011)  
林 辰博(25055) 松岡 太一(25125)  
金谷 圭子(25187) 今井 寛人(25205)  
小枝 周平(25206) 白井 美奈子(25393)  
谷利 美希(25459) 濱田 匠(25682)  
熊野 宏治(25758) 丁子 雄希(25790)  
中嶋 理帆(25795) 塩田 繁人(25815)  
植田 友貴(26035) 森元 隆文(26059)  
北上 守俊(26152) 岩上 さやか(26202)  
城之下 唯子(26233) 高槻 聖子(26329)  
水本 雄介(26399) 久保田 智洋(26412)  
宮寺 寛子(26456) 井部 光滋(26525)  
吉田 一平(26581) 中岡 和代(26714)  
山田 恭平(26737) 鈴木 耕平(26895)  
宮本 一巧(27181) 中村 美歌(27186)  
大嶋 陽子(27223) 川口 敬之(27252)  
西原 音衣麻(27313) 石川 篤(27370)  
澄川 幸志(27582) 河野 正志(27844)  
沼田 祐香(28008) 久保 拓哉(28012)  
佐々木 洋子(28090) 村井 貴(28300)  
小名 忍(28376) 吉岡 和哉(28404)  
濱口 真(28458) 館岡 周平(28497)  
嘉数 栄司(28632) 小玉 武志(28634)  
許山 勝弘(28693) 江口 喜久雄(28871)  
宇佐美 好洋(28928) 河村 麻衣(28999)  
渡部 喬之(29078) 稲田 雅也(29169)  
岩波 潤(29276) 馬場 順子(29316)  
神尾 昭宏(29435) 谷 有人(29486)  
早川 貴行(29496) 西畑 永人(29604)  
伊東 寛史(29657) 加藤 祐一(29730)  
松尾 崇史(29760) 細田 明(29868)  
砂川 耕作(29872) 土橋 大基(30049)  
金子 翔拓(30261) 久保 匡史(30315)  
木納 潤一(30370) 櫻井 卓郎(30621)  
佐々木 秀一(30745) 長城 晃一(30873)  
原田 祐輔(30942) 川合 康夫(31237)  
北田 泰敏(31262) 小島 弘行(31276)  
岡本 裕一(31433) 伊藤 俊幸(31435)  
大瀬 律子(31502) 藤田 貴昭(31524)  
外川 佑(31537) 宮本 和日子(31542)  
古松山 建吾(31548) 福井 恵(31575)  
宮寺 亮輔(31660) 山本 安里子(31835)  
中川 雅樹(31839) 小泉 浩平(31901)  
小林 大作(31954) 松村 幸治(32027)  
坂根 勇輝(32091) 橋本 晋吾(32244)

寺村 晃(32495) 石森 卓矢(32575)  
島田 岳(32601) 太田 貴仁(32868)  
岩切 良子(32942) 小砂 哲太郎(33022)  
西 聡太(33325) 浦瀬 康太(33355)  
西川 俊永(33401) 宗形 智成(33415)  
安宅 航太(33777) 小池 真由美(33911)  
重藤 旭(33964) 田丸 佳希(34186)  
丸山 祥(34225) 松本 幸樹(34282)  
平田 篤志(34327) 村仲 隼一郎(34442)  
浦部 智章(34465) 窪 優太(34757)  
田口 健介(34780) 小池 祐士(34793)  
西山 菜々子(34883) 牛勝 昌利(34953)  
寺村 健三(34969) 萬屋 京典(35064)  
高野 隼(35211) 寛 智裕(35268)  
高島 理沙(35698) 辻村 肇(35727)  
重村 祐介(35767) 高浜 功丞(35796)  
三浦 裕幸(35837) 澤田 有希(35886)  
鈴木 勝也(35931) 近藤 健(35937)  
木賊 弘明(36044) 中西 康祐(36067)  
鴨藤 祐輔(36075) 小野山 絢香(36155)  
吉田 裕紀(36225) 魚岸 実弦(36227)  
梶田 芳徳(36279) 大松 聡子(36330)  
山本 真理子(36366) 柳井 明子(36430)  
佐野 裕和(36502) 石川 真太郎(36670)  
廣田 杏子(36713) 塩津 裕康(36841)  
三輪 一馬(36998) 増田 雄亮(37074)  
田中 龍太郎(37181) 畑中 康志(37335)  
菊池 大典(37367) 武田 慶美(37476)  
後藤 啓士郎(37547) 今井 あい子(37599)  
小野瀬 剛広(37658) 本多 伸行(37688)  
竹内 潤(37755) 山本 敦子(38268)  
岸本 進太郎(38454) 吉田 彬人(38577)  
吉浦 和宏(38632) 小倉 美帆(38792)  
平田 淳也(39063) 荻山 泰地(39116)  
林 慎也(39242) 蘭 文雄(39277)  
鈴木 一広(39366) 南 庄一郎(39488)  
下西 宣雄(39544) 米山 智彦(39595)  
佐野 伸之(39596) 戸田 皓之(39655)  
篠田 昭(39694) 金野 達也(39784)  
山鹿 隆義(39829) 吉田 太樹(39910)  
松岡 耕史(39973) 小柳 昌彦(40003)  
鹿田 将隆(40252) 河埜 康二郎(40371)  
鈴木 真(40388) 野村 健太(40444)  
金子 祐大(40505) 中田 孝(40582)  
植田 修二郎(40701) 元廣 惇(40710)  
大瀧 亮二(40821) 平賀 勇貴(40884)  
武田 智徳(41039) 齊田 和哉(41186)  
細川 大瑛(41209) 清家 庸佑(41246)  
野口 佑太(41441) 甲斐 慎介(41489)  
本田 拓也(41796) 羽賀 祐介(41808)  
岡田 宏基(41889) 吉村 学(42087)  
荒井 英俊(42315) 山根 亜希(42321)  
毛利 友美(42432) 小林 賢(42480)  
久保田 茂希(42739) 山下 高介(42740)  
田中 裕二(42899) 中田 富久(43042)  
井上 貴雄(43111) 堀本 拓亮(43158)  
山田 竜也(43410) 中井 秀昭(43429)  
五十嵐 剛(43467) 横山 和樹(43673)  
坂田 崇好(43726) 高間 達也(43840)  
宝田 光(43938) 赤堀 将孝(44284)  
大野 勘太(44455) 池谷 政直(44458)  
四條 敦史(44470) 高田 善栄(44512)  
青木 啓一郎(44521) 松本 宗一郎(44683)  
木村 愛(44715) 田代 大祐(44719)  
田中 卓(44915) 樋口 浩幸(44926)  
仲田 奈生(45143) 下田 佳央莉(45431)  
田中 寛之(45456) 藤井 啓介(45596)

小手川 耕平(45646) 納富 亮典(45933)  
 田内 悠太(45964) 丸田 道雄(46061)  
 井津 直哉(46678) 藤原 謙吾(47409)  
 高木 雄作(47577) 馬場 千夏(47607)  
 桂 雅俊(47667) 稲富 惇一(48004)  
 安中 裕紀(48182) 小淵 浩平(48447)  
 小澤 弘幸(48655) 岩崎 智子(48679)  
 高瀬 良太(49290) 備前 宏紀(49863)  
 佐野 邦典(49925) 新山 祐貴(49959)  
 石田 史穂(49978) 福原 啓太(50399)  
 牧野 優徳(50466) 東 泰弘(50630)  
 宮島 真貴(50804) 山家 恭平(50974)  
 藤本 侑大(51648) 村上 知征(51694)  
 佐藤 雅(51867) 寺岡 睦(52008)  
 森内 剛史(52069) 唯根 弘(52591)  
 荻岐尾 優太(52612) 村口 詞紀(52818)  
 梅津 雄志(53037) 加賀美 開(53110)  
 菊地 翼(53210) 内柴 佑基(53552)  
 酒井 涼(53561) 佐藤 範明(53821)  
 山口 良介(54737) 池内 克馬(54927)  
 今井 悠人(54963) 松本 卓也(55175)  
 松尾 萌美(55269) 坂口 雄哉(55283)  
 宮内 貴之(55485) 倉本 由伽(55772)  
 松本 大典(55911) 駒場 一貴(56023)  
 藤原 裕登(56269) 長倉 侑祐(56382)  
 木村 夏実(56864) 田畑 阿美(58166)  
 池上 正斗(58974) 廣瀬 卓哉(59075)  
 井上 忠俊(59382) 井本 浩史(60580)  
 篠原 和也(62035) 有働 克也(62347)  
 大本 慎也(62348) 岩元 祐太(62622)  
 早崎 涼太(62628) 青柳 翔太(63502)  
 金丸 皓慈(65395) 松本 武士(67746)  
 廣瀬 友紀(71945)

事例審査会

**委員長** 田村 大(12381)  
 小林 法一(4718) 谷村 厚子(5036)  
 内藤 泰男(6124) 加藤 恒平(30622)  
 本多 伸行(37688) 鈴木 真(40388)  
 麓 文太(49337)  
**一般事例** 辻 薫(744) 川原 薫(834)  
**査読者** 大松 慶子(1038) 福井 信佳(1092)  
 吉野 実(1207) 青木 久美子(1217)  
 松元 義彦(1220) 小野 千恵(1224)  
 長岡 進一(1328) 上村 智子(1350)  
 高橋 敏弘(1373) 寺田 佳世(1411)  
 繁野 玖美(1413) 鎌田 樹寛(1435)  
 野田 和恵(1541) 谷村 浩子(1545)  
 長尾 徹(1576) 坂本 俊夫(1581)  
 濱 昌代(1781) 長谷川 幸恵(1838)  
 坂本 安令(1844) 柴田 薫(1943)  
 中村 真理子(1971) 加藤 寿宏(2003)  
 藤原 瑞穂(2083) 千田 聡明(2124)  
 岡野 昭夫(2298) 藤村 三穂(2324)  
 宮永 茂行(2330) 福島 勉(2333)  
 麦井 直樹(2456) 坂上 哲可(2564)  
 浅野 敬子(2583) 市田 忍(2650)  
 岩井 和子(2654) 栗林 美智子(2828)  
 赤坂 佳美(2833) 竹原 敦(2863)  
 新宮 尚人(3202) 和久 美恵(3213)  
 根本 悟子(3226) 坂上 真理(3310)  
 長谷川 龍一(3483) 田口 修(3772)  
 外里 富佐江(3847) 田中 一彦(3913)  
 神谷 詠子(3947) 保科 和正(4382)  
 西田 征治(4452) 中島 ともみ(4577)  
 本家 寿洋(4665) 押野 修司(4696)  
 小林 法一(4718) 西野 歩(4746)

近野 智子(4816) 稲毛 義憲(4902)  
 高多 真裕美(4977) 谷村 厚子(5036)  
 堀田 英樹(5052) 藤田 高史(5136)  
 東條 秀則(5148) 田邊 祐子(5242)  
 菅原 光晴(5315) 山田 隆人(5373)  
 石井 奈智子(5758) 津軽谷 恵(5885)  
 若松 剛(5938) 加藤 真夕美(6113)  
 内藤 泰男(6124) 明福 真理子(6148)  
 原田 康江(6797) 青山 克実(7253)  
 上城 憲司(7306) 川崎 和宏(8720)  
 鍛脇 健司(9046) 三木 恵美(10346)  
 四元 孝道(10554) 竹原 恵子(11425)  
 竹田 里江(11477) 田村 大(12381)  
 近藤 昭彦(12683) 藤本 一博(12872)  
 後藤 進一郎(13683) 中島 龍彦(15868)  
 野中 大(12381) 友利 幸之助(13847)  
 加藤 恒平(30622) 本多 伸行(37688)  
 鈴木 真(40388) 麓 文太(49337)

学術評議員会設置検討委員会

**委員長** 清水 兼悦(2755)  
**副委員長** 宮口 英樹(4693)  
 石川 隆志(2471) 東 登志夫(3118)  
 石井 良和(3140) 能登 真一(7785)  
 田村 大(12381) 友利 幸之助(13847)  
 早坂 友成(15377) 泉 良太(16302)

作業療法学全書編集委員会

**委員長** 宮口 英樹(4693)  
**副委員長** 鍛脇 健司(9046)  
 清水 順市(613) 酒井 ひとみ(678)  
 村田 和香(1403) 高畑 進一(1804)  
 石川 隆志(2471) 新宮 尚人(3202)  
 伊藤 佑子(3547) 大庭 潤平(8129)

精神科の作業療法あり方委員会

**委員長** 川口 敬之(27252)  
**副委員長** 小林 正義(1908)  
 篠崎 亜由美(10593) 渡邊 志義(1434)  
 岡庭 隆門(6680)

認知症バリアフリー社会推進委員会

**委員長** 山口 智晴(21991)  
**副委員長** 河合 晶子(16959)  
 田平 隆行(5952) 村島 久美子(24551)  
 堀田 牧(26296)

メンタルヘルス等産業保健推進委員会

**委員長** 杉村 直哉(18867)  
 是枝 晋也(20501) 星野 藍子(24409)  
 金川 善衛(24455) 富永 雅子(26179)  
 元廣 惇(40710) 山口 理貴(42015)

中級バラスポーツ指導員養成講習会事業検討委員会

**委員長** 織田 靖史(24799)  
 田中 勇次郎(517) 長谷 麻由(6311)  
 竹中 佐江子(17751) 酒井 康年(18655)  
 小黑 修(47787)

災害作業療法検討推進委員会

**委員長** 清水 兼悦(2755)  
**副委員長** 今野 和成(14102)  
 小林 毅(2057) 牛島 由紀雄(4161)  
 松本 良二(外部専門家)  
 金谷 年展(外部専門家)  
 富岡 正雄(外部専門家)

外国人に対する作業療法臨床ガイドライン編集委員会

委員長 池田 望(3150)  
吉田 美穂(3107) 小林 里美(18195)

アジア太平洋作業療法学会実行委員会

実行委員長  
大庭 潤平(8129)  
実行委員長補佐 学術プログラム委員長 国際渉外担当  
高橋 香代子(16784)  
社会交流・接遇委員長  
石橋 英恵(2089)  
財務委員長  
岡本 佳江(2722)  
後援展示委員長  
早坂 友成(15377)  
広報・宣伝委員長  
関本 充史(16960)  
JOTC連携委員長  
泉 良太(16302)  
学生・新人対象委員長  
池田 望(3150)  
開催地委員長  
清水 兼悦(2755)  
独立採算プログラム委員長  
安倍 あき子(7237)  
仙石 泰仁(2243) 坂上 哲可(2564)  
能登 真一(7785) 太田 久晶(8961)  
水野 威(10089) 友利 幸之介(13847)  
西本 敦子(20122) 森元 隆文(26059)  
岩上 さやか(26202) 前場 洋佑(36498)  
横山 素(39475) 岡田 宏基(41889)  
大槻 美佳(43577) 大野 勘太(44455)  
田原 正俊(47983) 下出 優(62269)  
山本 一貴(64134) 猿爪 優輝(67887)  
梶 由弥(76103)

MTDLP推進委員会

委員長 西井 正樹(18028)  
副委員長 小林 央(10862)  
大場 耕一(2900) 長井 陽海(11748)  
塩田 繁人(25815) 中塚 聡(39472)

「協会員＝士会員」実現のための検討委員会

委員長 三沢 幸史(2014)  
岡本 佳江(2722) 藤川 信(7075)  
関本 充史(16960) 中里 武史(21874)



# 2023年度第6回定例理事会抄録

日時：2023年12月16日(土) 13:00～17:23

方法：ZoomシステムによるWeb会議

出席：山本(会長)、大庭、香山、三澤(一)(副会長)、池田(理)、酒井、清水、関本、高島(干)、谷川、早坂、村井(常務理事)、池田(勝)、上田、佐藤、島崎、高橋、竹中、辰己、谷口、土居、能登(理事)、岩瀬、澤、長尾(監事)

陪席：三沢(幸)(委員長)、東、宮井、岡本、杉田、茂呂、岩花(事務局)、安藤(辻本郷)

## I. 報告事項

### 1. 議事録

- 1) 2023年度第5回定例理事会(10月21日) 書面報告
2. 中間監査報告(長尾監事、澤監事、岩瀬監事) 中間監査報告については書面どおりだが、事務局の業務負担が大きくなっている。各理事、報告義務者は事務局への提出物をできるだけ速やかに提出し、事務局の負担軽減をお願いしたい。
3. 職務執行状況報告
  - 1) 山本伸一会長 書面報告
    - (1) 会員の入退会について 書面報告
    - (2) 事務局員(部員等)の追加委嘱について 書面報告
    - (3) 他組織・団体等の協会代表委員名簿(2023年度:12月三役会現在)について 書面報告
    - (4) 事務局職員の新規採用について 書面報告
    - (5) 契約の締結について 書面報告
    - (6) 第8回リハ議連総会について さまざまな渉外活動を経て12月6日に第8回リハ議連総会が行われ、作業療法士の就労環境や賃金水準等について説明し、決議が行われた。
    - (7) 常務理事会の開催について 書面報告
  - 2) 大庭潤平副会長 書面報告
    - (1) 2023年10月期の収支状況について 10月末時点で経常収益が計72.18%、経常費用が42.27%である。年度末にかけて適正な執行をお願いしたい。11月末時点での入会者数は当初計画と比べて649名少ない。
    - (2) システム開発の進捗状況について 12月末までにシステムテストの準備を行い、1月末までにシステムテストを行う。2月に受入テストを行う。当初予定のとおりゴールデンウィーク明けにシステムの運用を開始する。
    - (3) 職員給与規程見直しおよび人事管理制度創設の検討チーム・基本理念WGについて(谷川常務理事) 基本理念ワーキンググループ(WG)、財務のあり方WG、職務権限WGの3つが動き始めている。基本理念WGで検討されている基本理念案の途中経過について説明した。
    - (4) 委員会等から理事会への活動報告、審議事項・決議事項の上程の流れについて 運用するなかで課題が生じれば検討したい。
    - (5) 『事例で学ぶ生活行為向上マネジメント(第2版)』の増刷について 第5刷を2024年2月に発行する予定である。
    - (6) 2023年度代議員選挙の経過報告について 定数257名に対し152名の立候補があった。不足の105名については選挙管理委員会から各都道府県作業療法士会に推薦候補の擁立を依頼し、12月15日までに全士会から回答を得て代議員定数を満たした。
    - (7) 2024年度定時社員総会議案書の原稿作成状況について 事務局で確認および校正作業を進めている。形式に倣って書かれていない部署には修正や再作成を依頼

する。

- 3) 香山明美副会長 書面報告
  - (1) 2024年度課題研究助成制度審査結果および助成研究の推薦について 書面報告
- 4) 三澤一登副会長 トリプル改定で障害福祉サービス業の改定概要の方針が示されている。日本発達障害ネットワークの障害児者の渉外活動も進んでいる。
- 5) 酒井康年常務理事 書面報告
  - (1) 渉外活動報告 長野県で開催された第47回日本障がい者体育・スポーツ研究発表会において、「日本作業療法士会によるパラスポーツへの関わりの展開」というタイトルで報告を行い、歓迎の言葉をいただいた。
- 6) 関本充史常務理事 書面報告
  - (1) 訪問リハビリテーション振興委員会/訪問リハビリテーション振興財団報告 書面報告
- 7) 清水兼悦常務理事 書面報告
  - (1) 学術評議員会設置検討委員会関連 学会の独立を進める必要があるが、法的・技術的に可能か、細部を詰める必要がある。総務部で検討していただきたい。
  - (2) 組織率対策委員会からの提言案について 協会の組織率向上に向けてスピード感ある対策が重要との認識から、委員による量的解析をもとに23年12月案として提言書を作成した。
- 8) 早坂友成常務理事 書面報告
  - (1) 新生涯学修制度の検討状況について(竹中理事) 概要を説明した。
- 9) 高島千敬常務理事 書面報告
  - (1) 中医協報告 令和6年度診療報酬改定の基本方針について、改定にあたっての基本認識、改定の基本的視点と具体的方向性について説明した。
- 10) 谷川真澄常務理事 書面報告
  - (1) 協会財務体質のあり方に関する検討状況について 財務のあり方WGで検討されている財務のあり方案の途中経過について説明した。
  - (2) 協会・士会協働事業「市町村担当者配置事業」について 11月25日のよんぱちで士会から出た経費負担に関する質問を受け、「市町村担当者配置事業」について改めて説明する文書を作成した。
- 11) 池田望常務理事 書面報告
- 12) 村井千賀常務理事 書面報告
4. その他理事活動報告
  - 1) 渉外活動報告 書面報告
5. 委員会等の活動報告  
常設委員会
  - 1) 作業療法マニュアル編集委員会 書面報告
  - 2) 学術誌編集委員会 書面報告
  - 3) 課題研究審査会 書面報告
  - 4) 教育関連審査会 書面報告
  - 5) MTDLP事例審査会 書面報告
  - 6) 選挙管理委員会 書面報告
  - 7) 倫理委員会 書面報告

## 特設委員会

- 1) 組織率対策委員会 書面報告
  - 2) 学術委員会(村井常務理事) ICF データ収集分析検討小委員会では、今年度、「ICF を活用した作業療法の標準化と体系化について(答申)」をまとめた。
  - 3) 学会企画委員会 書面報告
  - 4) 学術評議員会設置検討委員会 書面報告
  - 5) 作業療法学全書編集委員会 書面報告
  - 6) 災害作業療法検討推進委員会 書面報告
  - 7) MTDLP 推進委員会 書面報告
  - 8) 「協会員=士会員」実現のための検討委員会 書面報告
6. その他の報告
- 1) 日本作業療法士連盟活動報告 書面報告

## II. 決議事項

### 総務関連

1. 「協会員=士会員」について
  - 1) 実現のための方策、工程表および関連する提案資料について(大庭副会長、三沢(※)「協会員=士会員」実現のための検討委員長)「『協会員=士会員』実現のための方策(修正案)」、これを達成するための工程表(修正案)を示すので承認願いたい。 →承認  
上記に付随して、「協会員=士会員」を実現するために必要な定款、定款施行規則、会費等に関する規程の改定案を示す。さらに精査したうえで、2026年度定時社員総会を目的に改定を行う。
  - 2) 山形県士会、福岡県士会への回答について(大庭副会長)山形県士会からの意見書と回答案、福岡県士会からの意見書と回答案を示したので承認願いたい。 →承認
2. 2024年度重点活動項目について(大庭副会長) 2024年度重点活動項目の表題・前文の内容は妥当であるか、また各項目の整理と表現、担当部署は妥当であるかを審議し、承認願いたい。 →承認
3. クォータ制導入時期の変更について(大庭副会長) 代議員選挙は次回の2027年度から、役員選挙はその後の2029年度から導入することに変更したい。 →差し戻し
4. 2024年度定時社員総会の開催方針(開催形式)について(大庭副会長) 会場出席を基本とし、会場出席ができない社員には議決権行使書または委任状の提出による議決権行使を認める。ハイブリッド型参加型バーチャル形式によるオンライン配信は行わない。会場は日経ホールとする。ただし、2024年3月25日を期限とし、感染状況が悪化し移動が制限されるなどの事態になった場合はオンライン方式への方針転換もあり得る。 →承認
5. 名誉会員表彰候補者の社員総会への推薦について(香山副会長) 片岡愛子氏(会員番号474)を当理事会として推薦し、名誉会員として承認し表彰する件を、2024年度定時社員総会に審議上程することについて承認願いたい。 →承認
6. 理事の担当職務の一部追加について(山本会長) 酒井常務理事のその他の担当職務として「こども施策関連担当」および「司法関連担当」を追加し、二神理事のその他の担当職務として「社会施策担当」を追加することについて承認願いたい。 →承認

### 学術事業関連

7. 第58回日本作業療法学会の予算案について(清水常務理事) 第58回日本作業療法学会を2024年11月9日(土)~10日(日)の1.5日間の現地開催とWebのハイブリッド形態で開催する。参加総数は2,695人、約53万円の黒字を見込んだ予算案について承認願いたい。 →承認

8. 第59回日本作業療法学会(高松)および第60回以降学会運営委託業者の選定について(清水常務理事) 学会運営の手引きにのっとり審査した結果、第59回日本作業療法学会の学会運営は株式会社インターグループに委託する。第60回以降の委託業者は適当な時期に選定する。

→過去の不手際については是正を求め、管理監督することとして承認

### 教育事業関連

9. 指定規則改定に向けての基本方針について(早坂常務理事) 2025年指定規則改定に向けて、作成メンバー、ロードマップ案について承認願いたい。また、コアカリキュラム2024策定の基本方針について、修正を含めて大枠の承認を願いたい。 →承認

### 委員会関連

10. 学術誌編集委員会規程の改定について(清水常務理事) 学術誌編集委員会規程における改定案を作成した。第8条に「委員長・副委員長会議」の規定を新設する。 →承認
11. 学会企画委員会規程の改定について(清水常務理事) 第3条第6項に学会長の推薦について、同条第7項に学会運営業務の委託業者選定について追加した修正案を作成した。 →承認
12. 学術委員会内の組織的学術研究小委員会の設置および委員委嘱について(清水常務理事) 学術委員会に組織的学術研究小委員会を設置し、6名に対して委員委嘱したい。残り4名以内の委員の委嘱については、制度に精通した者を含めてはどうかとの三役会の意見を反映させて検討する。 →承認
13. 委員会等の構成員の委嘱について(山本会長、辰巳理事) 以下の2常設委員会および3特設委員会の委員の委嘱について、第7期演題査読者のうち1名を除いて承認願いたい。 →承認

### 常設委員会

- 1) 教育審議委員会
- 2) 診療報酬改定対策委員会

### 特設委員会

- 1) 作業療法学全書編集委員会
- 2) 第7期(2024-2026)演題査読者
- 3) 学術評議員会設置検討委員会
14. その他

## III. 審議事項

1. 2024年度予算案について(大庭副会長、岡本財務課長) 協会各部署からの予算申請に基づき、事業区分ごとに仕分けをして2024年度予算案を作成した。現時点で約2億円の赤字予算であり、このまま事業を実行することは困難である。そのため2024年度収入予測減少分(約3,500万円)とこれまでのシステムに係る減価償却費分(約1,400万円)を合わせた約4,900万円分の経費削減に向けて事業調整する。2月理事会の予算決議に向けて、まずは三役で、1) 2024年度重点活動項目、第四次作業療法5ヵ年戦略関連活動を優先し、2) 部署業務活動については緊急性と重要性を考慮して事業内容の削減、規模の縮小、事業自体の中止または延期、事業の統合などができる余地はないか吟味する。3) 旅費交通費については全面的に見直し、4) 今年度の予算執行状況、事業評価等の観点から検討する。三役案をさらに1月の常務理事会で検討し、2月理事会に予算案を提示する。 →継続審議
2. その他



## 認定作業療法士取得研修について

認定作業療法士取得研修は、認定作業療法士を新規取得するために必要な研修会です。共通研修（2講座）および選択研修（4講座）から成り、基礎研修修了後（要修了申請）から受講可能です。講座の受講および修了試験に合格することで研修会修了となり、合格証が発行されます。

研修会によって、当日の研修会参加に加え事前課題やeラーニングの視聴等がありますので、協会ホームページの研修会一覧ページ（会員向け情報＞研修会一覧）から内容をご確認ください。

※2023年度開催の認定作業療法士取得研修についてはお申し込みを締め切っております。

※認定作業療法士取得研修は、研修会開催日時時点で基礎研修満了年月日が有効期限内でなければお申し込みをすることはできません。

### 認定作業療法士取得研修 共通研修・選択研修

#### ●共通研修

認定作業療法士取得のためには、以下の2講座の修了が必要です（ただし、修士または博士の学位を取得している者は「研究法」の受講および修了試験を免除）。

#### 1. 管理運営

##### 【概要・目的】

- 1) 認定作業療法士に求められる職場での管理職としての意識をもつようになる。
- 2) 第三者評価のように職場の状況を評価することの意味を理解する。
- 3) 協会（士会）の活動目標を理解して、業務管理に役立てることができる。

#### 2. 研究法

##### 【概要・目的】

- 1) 作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。
- 2) 作業療法の発展に重要な事例研究、研究デザインの考え方や基本統計手法について理解する。
- 3) 研究計画書作成を通して研究を進める要領を習得する。

## ● 選択研修

認定作業療法士取得のためには、以下の4講座のうち2講座の修了が必要です。

### 1. 身体障害の作業療法

#### 【概要・目的】

- 1) 身体障害領域において各病期、各領域等の対象者に対する作業療法の評価、介入、効果判定の一連の流れが実践できる臨床能力を習得する。また他職種との連携や社会資源の活用、職場や行政等の制度の利用を含めた、総合的かつ継続的に作業療法を提供していく過程や予後（将来的展望）に立った作業療法の展開を実践する考え方を理解する。
- 2) 身体障害領域において社会的ニーズの多様化に対応できる臨床的観察力・分析力を習得する。

### 2. 老年期障害の作業療法

#### 【概要・目的】

一般目標：老年期（高齢期）における作業療法の対象者の特徴を理解し、その対象者に対する作業療法を適切に実施（遂行）できる。

行動目標：1) 老年期作業療法の対象者の特徴を説明できる。

2) 老年期における対象者の作業療法を説明できる。

3) 老年期作業療法の現状と課題を理解する。

4) 老年期を対象にした担当症例についてわかりやすい事例報告をまとめることができる。

5) 後輩に対して適切な臨床的指導ができる。

### 3. 精神障害の作業療法

#### 【概要・目的】

臨床における指導者の育成を目的に、講義・事例検討・グループ演習等を通して、急性期～維持期における作業療法課題を明らかにし、アセスメント、面接技法、心理教育、退院促進、チームアプローチ等の実践力の向上を図る。

### 4. 発達障害の作業療法

#### 【概要・目的】

1. 地域支援に必要な作業療法士の役割・知識・技術等を学ぶ。

2. 地域で暮らす障害児・者とその家族の支援について、事例を通して検討する。

2024年度の予定については、開催日が決定次第協会ホームページに掲載してまいります。  
皆様のご参加をお待ちしております。

## 生涯教育講座案内【都道府県作業療法士会】

現職者選択研修						
講座名	日程	主催県士会	会場	参加費	定員	詳細・問い合わせ先
老年期	2024年1月20日(土)	長野県	Web開催	4,000円	100名	詳細は、各都道府県作業療法士会ホームページをご参照ください。
精神障害	2024年1月20日(土)	広島県	県立広島大学 三原キャンパス4号館 4103講義室	4,000円	80名	
老年期	2024年1月21日(日)	新潟県	Web開催	4,000円	40名	
精神障害	2024年1月28日(日)	宮城県	ハイブリッド開催(予定)	4,000円	80名	
老年期	2024年1月28日(日)	群馬県	Web開催	4,000円	40名	
精神障害	2024年1月28日(日)	神奈川県	Web開催	4,000円	50名	
発達障害	2024年2月4日(日)	長崎県	ハイブリッド開催	4,000円	100名	
発達障害	2024年2月10日(土)	愛知県	Web開催	4,000円	50名	
老年期	2024年2月11日(日)	佐賀県	ハイブリッド開催 ※感染状況によってはzoom によるオンライン研修に 変更する場合があります。	4,000円	リモート:80名/ 会場:未定	
精神障害	2024年3月3日(日)	熊本県	Web開催	4,000円	40名	

※現職者選択研修の受講には、日本作業療法士協会への入会とともに、各都道府県士会への入会も必要です。所属士会以外で受講される場合には、開催士会から所属士会へ入会状況の確認をさせていただくことがありますので、ご了承のうえ、お申込みください。

- 詳細は、日本作業療法士協会のホームページをご覧ください。
- 協会主催研修会の問い合わせ先 電話：03-5826-7871 FAX：03-5826-7872 E-mail：ot-kenshu@jaot.or.jp

## 日本作業療法士連盟だより

連盟ホームページ▶<http://www.ot-renmei.jp/>



### 少子高齢化社会における 作業療法の有用性を考える

日本作業療法士連盟会長 杉原 素子



少子高齢化社会の課題が待ち受ける新しい年を迎えました。私たち保健医療福祉領域における職種や専門職団体に寄せられる課題や期待を考えると、私たち自身が地域・コミュニティでの作業療法士の有用性を自覚し、さまざまな活動の展開を試みることでしょう。新聞や近刊の書物によれば、昨今は、働き手の不足、働き続ける人を増やす等の対策記事が満ちています。これらの課題への対策は、国全体を対象にして検討されることも必要ですが、都道府県や区市町村のいわゆるコミュニティと呼ばれる地域単位の施策検討のほうが、より具体的で切実な問題でもあり、解決を迫られている度合いは高いと考えられます。したがって、全国を視野に入れた制度対策の検討よりは、むしろ各都府県作業療法士会あるいは、区市町村規模の地方資源・施策を検討するほうが喫緊の課題解決につながるでしょう。

リクルートワークス研究所が実施した職種別の担い手需給予測では、これまで保健医療専門職の需要供給はほぼ均衡でしたが、これからは深刻な担い手不足となっていくと予測しています。このことから、地域・コミュニティでの問題解決は一層重要になってきていると言えます。

私が少子高齢化社会の到来における作業療法士の有用性や役割を再確認したのは、広井良典著『コミュニティ

を問いなおす』（筑摩書房）に述べられている、医療技術をコミュニティとのかかわりで捉えた考えからです。広井氏の考えを要約すると、「医療技術は感染症や外傷の治療時代を経て現在は、がんを含めたさまざまな慢性疾患はもちろん、高齢者関係や鬱等の精神疾患等が医療の主要部分になっている。したがって現在の病は身体内部の要因のみならず、心理的要因、社会的要因、環境的要因等の無数の要因が複雑に絡み合った帰結としての心身の状態として生じている。このことから、狭い意味での『医療モデル』から障害者や高齢者の『生活モデル』と言われる内容になり、このモデルの目的は生活の質、目標は自立、疾患は障害、場所は医療施設から在宅・地域、支えるチームは当事者を含む医療・福祉等の異職種である」。

近年、特に若い世代の作業療法士たちが病院等医療施設のを離れ、サービスの多様性を求めてNPO等在宅や地域サービスに果敢に取り組む姿が紹介されています。彼らの勇気や決断力・実行力に敬意を表するとともに、作業療法士が社会ニーズに的確に応え、狭い意味の医療技術者から、年代を超えた人々の生活の質の改善に目を向けることはまさに少子高齢化社会における作業療法士の有用性・役割を明示することにつながると考えています。

## 医療福祉eチャンネルで、見て学ぶ作業療法



### 1講座1.5時間の単位認定番組

※日本作業療法士協会会員ポータルサイトに反映

- 現職者共通研修 [8番組]
- 生活行為向上マネジメント [基礎編]



医療福祉eチャンネル(<https://www.ch774.com/>)での単位認定には「履修登録」「受講管理料」が必要となります。詳しくは「日本作業療法士協会の皆さまへ」をご覧ください。

### 新番組 燃えよ、作業療法士！～日本の明日の作業療法を革新する～

共生社会の実現や多様性に強い専門職として、教育の場・仕事の場・生活の場作りに、作業療法士の支援力が求められています。各地域の課題や、それらの解決に関わる果敢な取組を学びながら、半世紀になる日本の作業療法の革新を目指していきます。



# 編 集 後 記

明けましておめでとうございます。旧年中は本誌をご愛読くださり、ありがとうございました。本年も引き続きのご購読を何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、最近、我が家の7歳になる娘がなぜか手話を熱心に勉強しています。NHKの手話番組を視聴し、放課後クラブで手話教室が開かれれば必ず参加しているのです。身近に聴覚障害者がいるわけでもないのに、なぜ勉強しているのか聞くと、ただ手振りだけで言葉が伝わるのが面白いからだそう。ただ面白いから学ぶというのは最強です。義務感で学ぶとどうしても「やらなきゃ」となって頭に入ってきません。

子どもの学習能力はすごいです。制作広報室では小学生～高校生に向けてさまざまな広報媒体を用意しています。これらを活用して、子どもたちが「作業療法って何となく面白い」と感じるような職業紹介授業を会員の皆様でつくりあげていただけると幸いです。

(機関誌編集制作スタッフ)

本誌に関するご意見、お問い合わせがございましたら下記までご連絡ください。

E-mail [kikanshi@jaot.or.jp](mailto:kikanshi@jaot.or.jp)

## ■ 2022年度の確定組織率

56.8% (会員数 61,799名 / 有資格者数 108,872名<sup>\*</sup>)

<sup>\*</sup> 2023年度は会員数がまだ確定していないため組織率の算定ができません。当協会の最新の組織率としては、理事会の承認を得て確定した2022年度の会員数に基づくこの数値をご利用ください。

## ■ 2023年12月1日現在の作業療法士

有資格者数 113,665名<sup>\*</sup>

会員数 63,725名

社員数 246名

認定作業療法士数 1,421名

専門作業療法士数 (延べ人数) 151名

## ■ 2023年度の養成校数等

養成校数 203校 (208課程)

入学定員 7,685名

<sup>\*</sup> 有資格者数の数値は、過去の国家試験合格者数を単純に累計した数に、本会が把握し得た限りでの外国で取得した免許から日本国免許へ切り換えた者に加え、2022年度までの死亡退会者数(280名)を除いた数として示していますが、免許証の未登録、取り消し、本会が把握し得ない死亡その他の理由による消除の結果生じた減数分は算入されていません。

## 日本作業療法士協会誌 (毎月1回発行)

第142号 2024年1月15日発行

□発行人：山本 伸一

□制作広報室

室長：東 祐二

担当：宮井 恵次、遠藤 千冬、岩花 京太郎、大胡 陽子

□制作・印刷：株式会社サンワ

□発行 一般社団法人 日本作業療法士協会

〒111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル

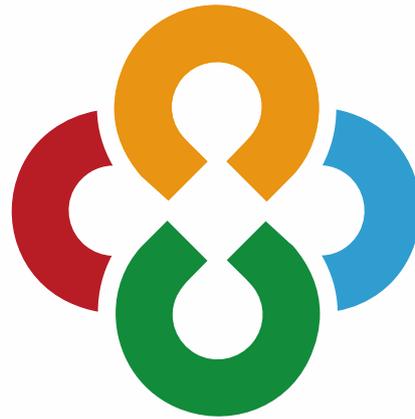
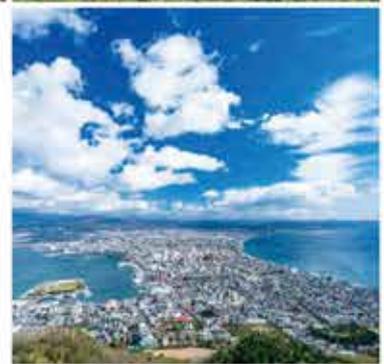
TEL.03-5826-7871 FAX.03-5826-7872

E-mail [kikanshi@jaot.or.jp](mailto:kikanshi@jaot.or.jp) 協会ホームページ <https://www.jaot.or.jp/>

□求人広告：1/4頁 1万3千円 (賛助会員は割引あり)



●協会ホームページに  
機関誌の電子版を掲載しています



8AP●TC.2024  
8th Sapporo. Japan

# 第8回 アジア太平洋作業療法学会

The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024

互いに支えあう地域づくり —持続可能で根拠に基づいた作業療法—

会期

2024年11月6日(水)–9日(土)

会場

札幌コンベンションセンター

学会長

Ling-Hui Chang

アジア太平洋作業療法地域グループ 会長

山本 伸一

一般社団法人 日本作業療法士協会 会長

INFORMATION

一般社団法人 日本作業療法士協会 事務局



第8回 アジア太平洋作業療法学会  
(APOTC2024) 運営事務局



公式ウェブサイト  
(SNSもこちらから)





2024年1月15日発行 第142号